

令和２年度 男女共同参画に関する 市民アンケート 結果報告書



八戸市 男女共同参画シンボルマーク

八戸市 総合政策部 市民連携推進課

目 次

第1章 調査の目的と概要	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査項目.....	2
3. 調査実施方法.....	2
4. 報告書の見方.....	3
第2章 調査結果	5
1. 回答者の属性.....	6
(1) 性別.....	6
(2) 年齢層.....	6
(3) 職業.....	7
(4) 婚姻の状況.....	8
(5) 世帯構成.....	9
2. 男女共同参画に関する意識について.....	10
(1) 各分野における男女の平等感について.....	10
(2) 固定的性別役割分担意識について.....	17
(3) 進路・職業選択について.....	18
(4) 家事分担の理想について(外部サービスの利用を含む).....	19
3. 男女共同参画に関する用語及び市事業の認知度について.....	22
(1) 男女共同参画に関する用語について.....	22
(2) 市の事業について.....	27
4. 仕事における男女共同参画について.....	31
(1) 仕事や就職活動における男女差について.....	31
(2) 女性活躍のために必要なことについて.....	32
(3) 女性の登用拡大のために必要なことについて.....	33
(4) 男女が共に働きやすい環境づくりのために必要なことについて.....	34
5. 家庭における男女共同参画について.....	35
(1) 家事への参画度について.....	35
(2) 男性の家事参画のために必要なことについて.....	45
6. 地域活動における男女共同参画について.....	46
(1) 地域活動への参画度について.....	46

(2) 地域活動への参加を進めるために必要なことについて.....	50
7. ワーク・ライフ・バランスをめぐる状況について.....	51
(1) 「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・個人の活動」の優先度について.....	51
8. 少子化対策について.....	53
(1) 出生率低下や少子化対策として必要なことについて.....	53
9. DV(ドメスティック・バイオレンス)について.....	54
(1) DV経験の有無について.....	54
(2) 誰かに相談したかについて.....	55
(3) 相談しなかった理由について.....	56
10. 男女共同参画社会実現に向けての意見について.....	57
(1) 行政はどのようなことに力を入れるべきかについて.....	57
第3章 アンケート調査票	59

第1章 調査の目的と概要

1. 調査の目的

八戸市では、女性も男性もあらゆる分野へ平等に参画し、一人の人間として個性や能力を発揮し、喜びも責任も分かち合える男女共同参画社会を目指して、時代や社会の動向を踏まえ計画を策定し、施策を推進してまいりました。

平成 29（2017）年度から令和 3（2021）年度までを計画期間とする「第 4 次八戸市男女共同参画基本計画」の策定から 5 年が経過し、当市を取り巻く環境は大きく変容しており、これまで取り組んできた施策について、状況に即した見直しが必要です。

令和 4（2022）年度から開始する「第 5 次八戸市男女共同参画基本計画」の策定に当たって、市民の皆さんを対象に男女共同参画に関するお考えやご意見、実態をお伺いし、八戸市の現状と課題把握することを目的としたアンケート調査を実施しました。

2. 調査項目

- 回答者自身のことについて
- 男女共同参画に関する意識について
- 男女共同参画に関する用語及び市事業の認知度について
- 仕事、家庭、地域活動における男女共同参画について
- 少子化について
- 人権の尊重について
- 男女共同参画社会実現に向けての意見について

3. 調査実施方法

- 調査対象 満 18 歳以上の八戸市民 1,000 人
(八戸市住民基本台帳より、八戸市に在住している 18 歳以上の市民から男女各 500 人を年齢階層別に無作為抽出)
- 調査期間 令和 2 年 10 月 20 日から 11 月 20 日まで
- 調査方法 上記の方法で抽出した市民に対し、自記・無記名式の調査票を郵送配布、郵送回収
- 有効回収数 582 件（有効回収率 58.2%）

4. 報告書の見方

- グラフ中の「n」はアンケートの有効回答者数を示しています。
- 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、回答比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の場合、各選択肢の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- グラフとして示したもののうち、回答数が0の選択肢の表示を省略している場合があります。また、設問・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合があります。
- 属性別の分析については、該当する属性の設問に回答した方をそれぞれの属性の母数として集計しているため、属性別の回答数の合計が全体の回答数と一致しない場合があります。

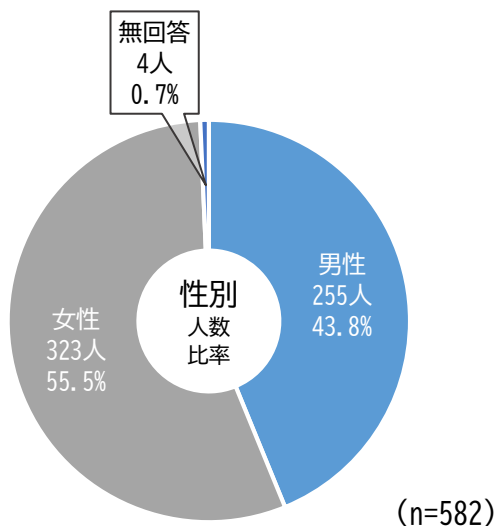
第2章 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。

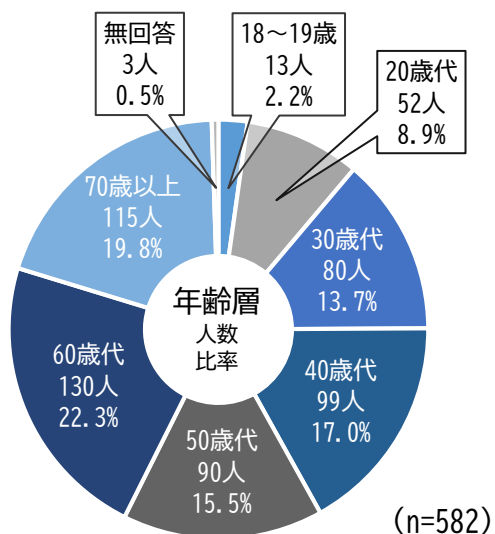
1. 男性 2. 女性



(2) 年齢層

問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。

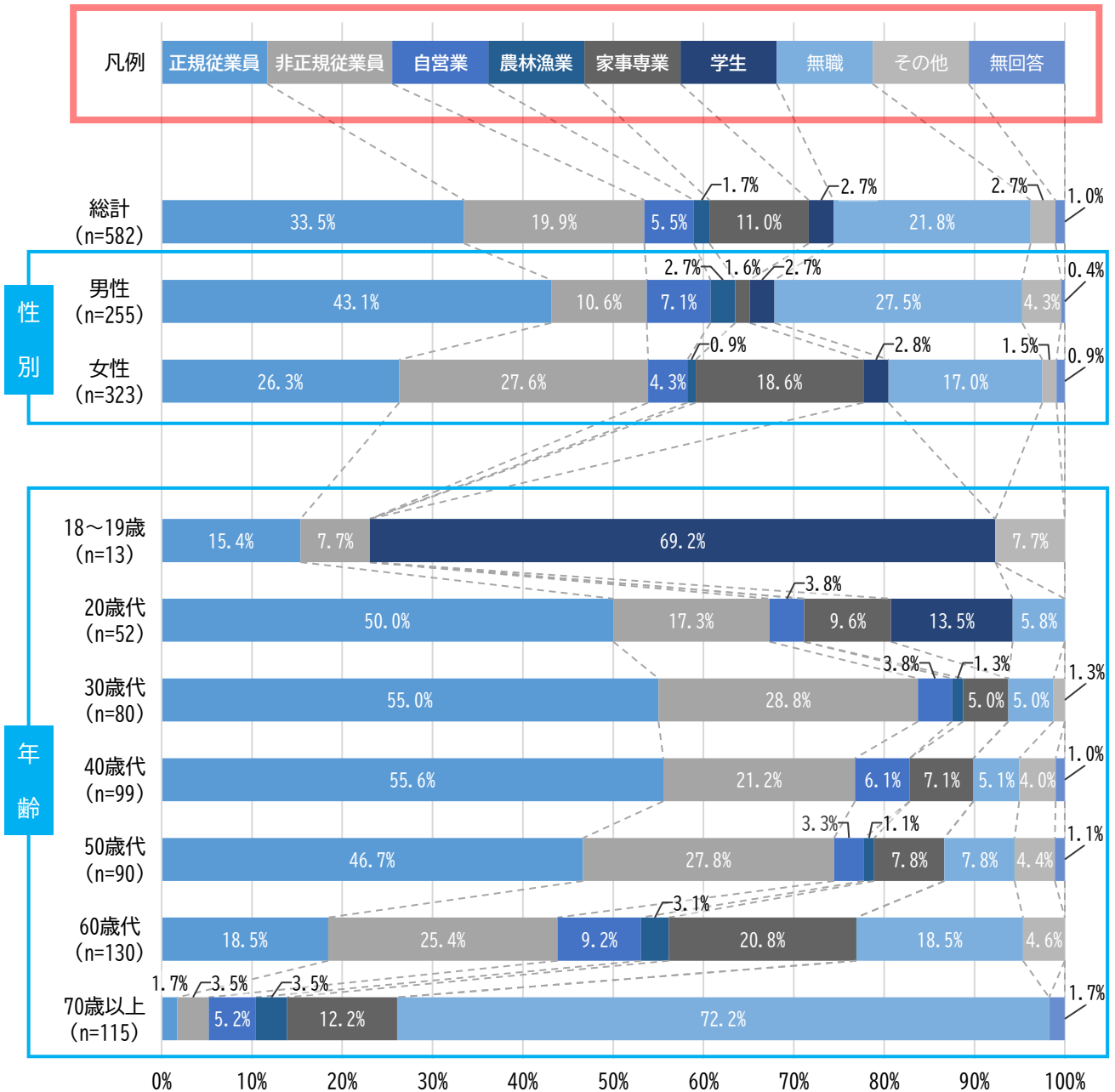
1. 18～19 歳 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳
5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳以上



(3) 職業

問3 あなたの職業はどれにあたりますか。

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 正規従業員 | 2. 非正規従業員（非常勤・パート・アルバイトなど） |
| 3. 自営業（商工業・サービス業など） | 4. 農林漁業 |
| 5. 家事専業（主婦・主夫・家事手伝い） | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 |



第2章 調査結果

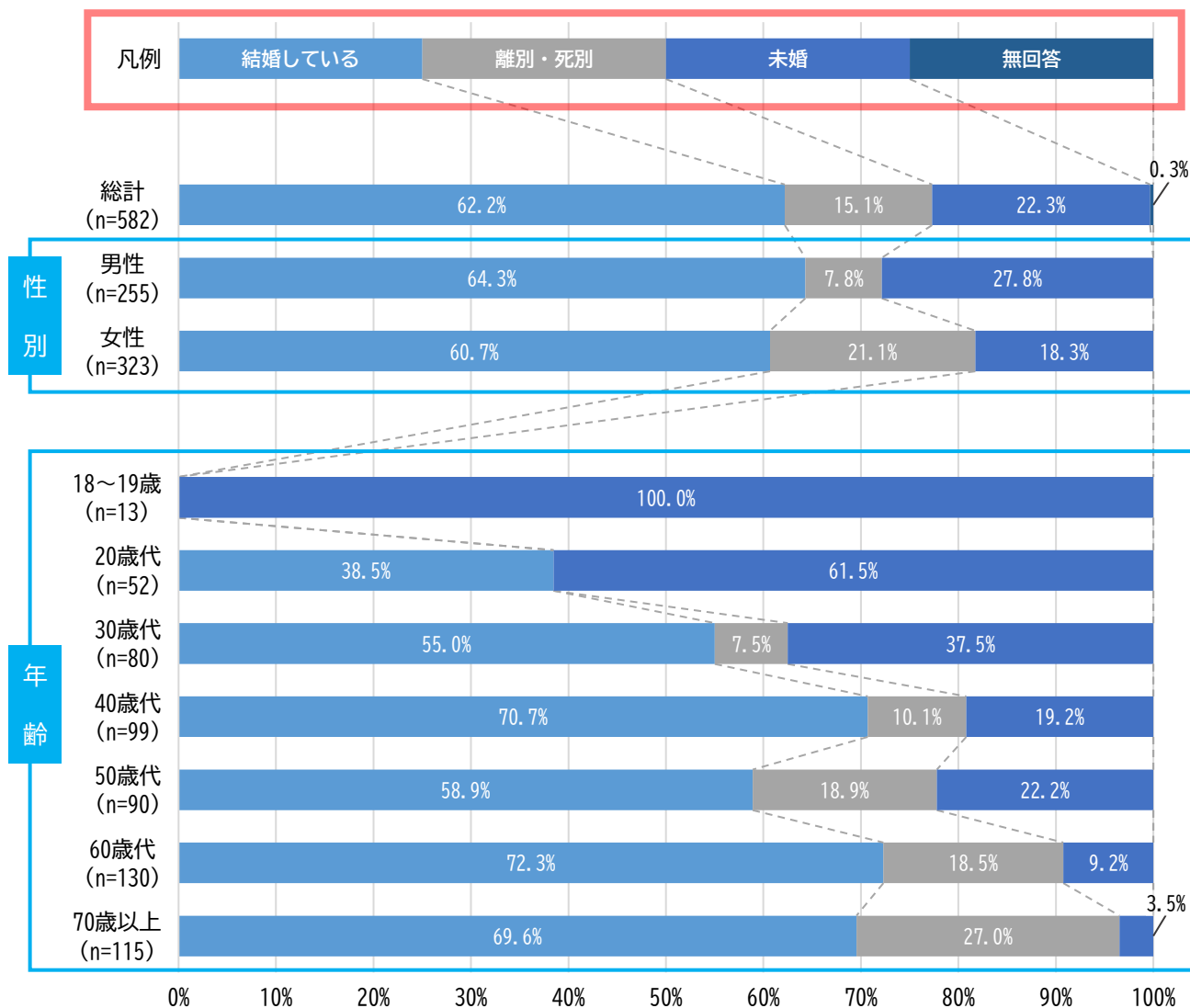
(4) 婚姻の状況

問4 あなたは結婚されていますか。

1. 結婚している(事実婚含む)

2. 離別・死別

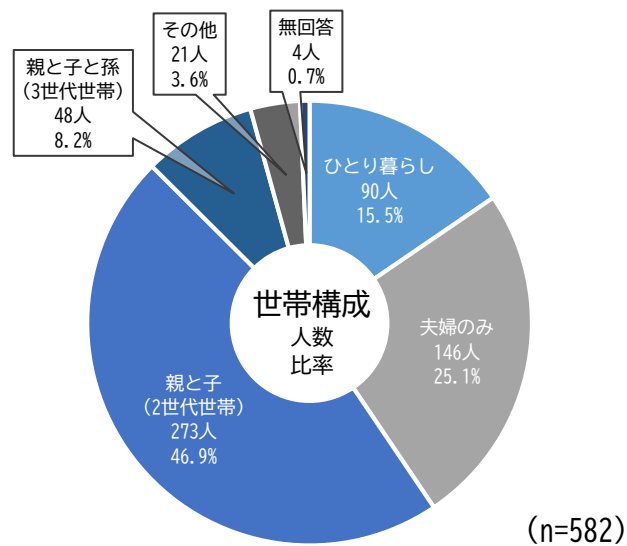
3. 未婚



(5) 世帯構成

問5 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子(2世代世帯)
4. 親と子と孫(3世代世帯) 5. その他



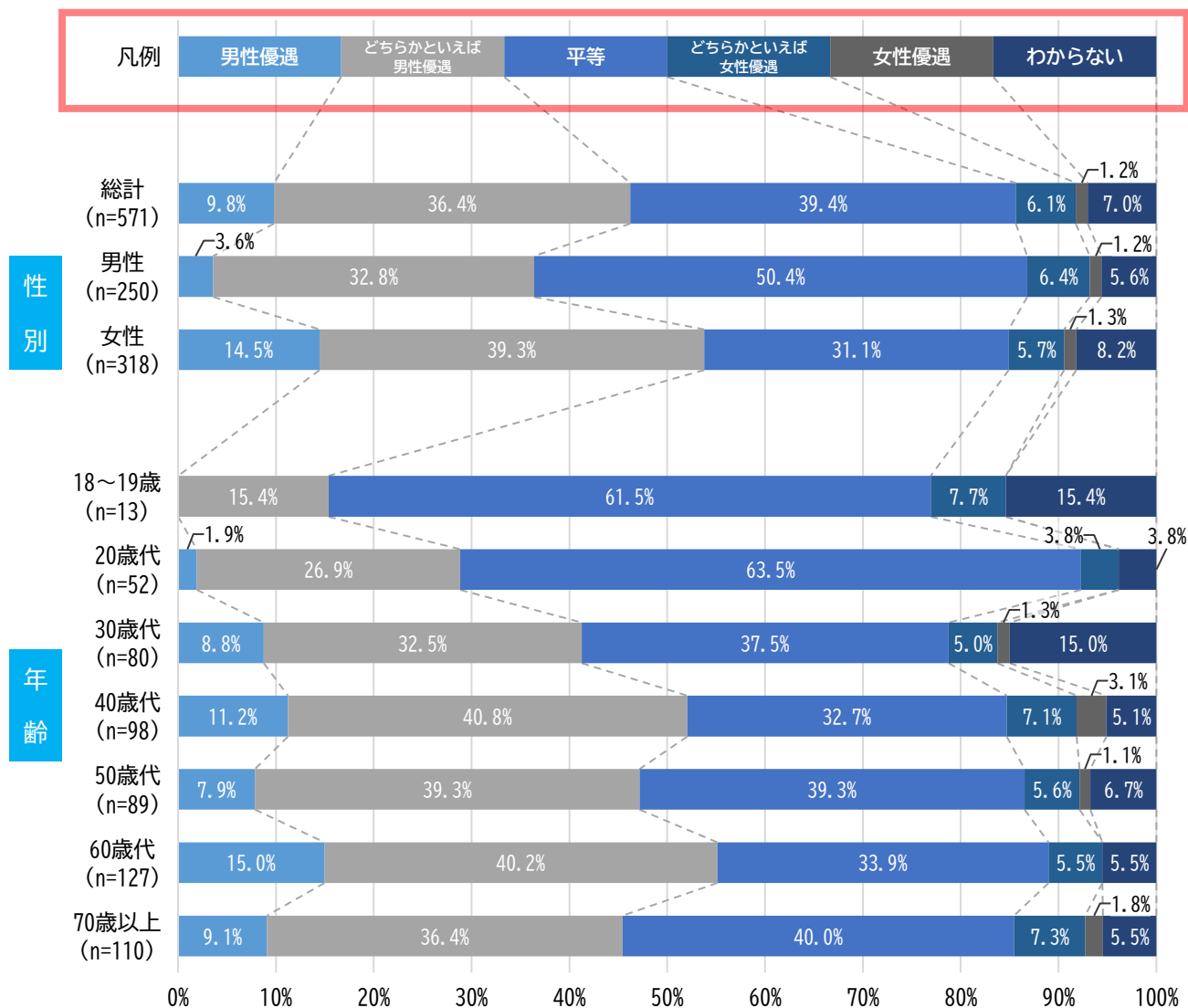
2. 男女共同参画に関する意識について

(1) 各分野における男女の平等感について

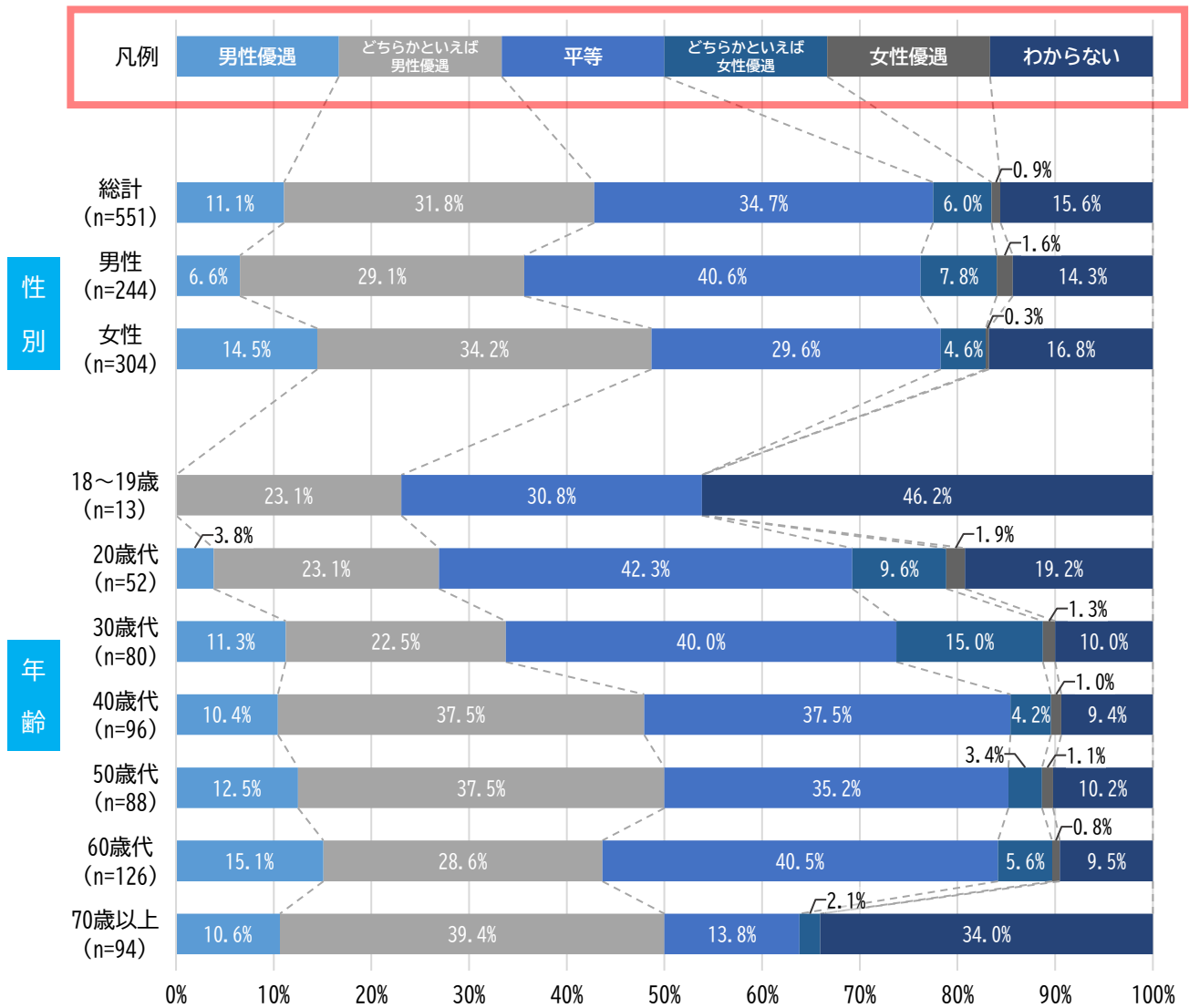
問6 あなたは、次のア～キの分野において、男女は平等になっていると思いますか。
あなたの気持ちに最も近い番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている
6. わからない

ア 家庭生活

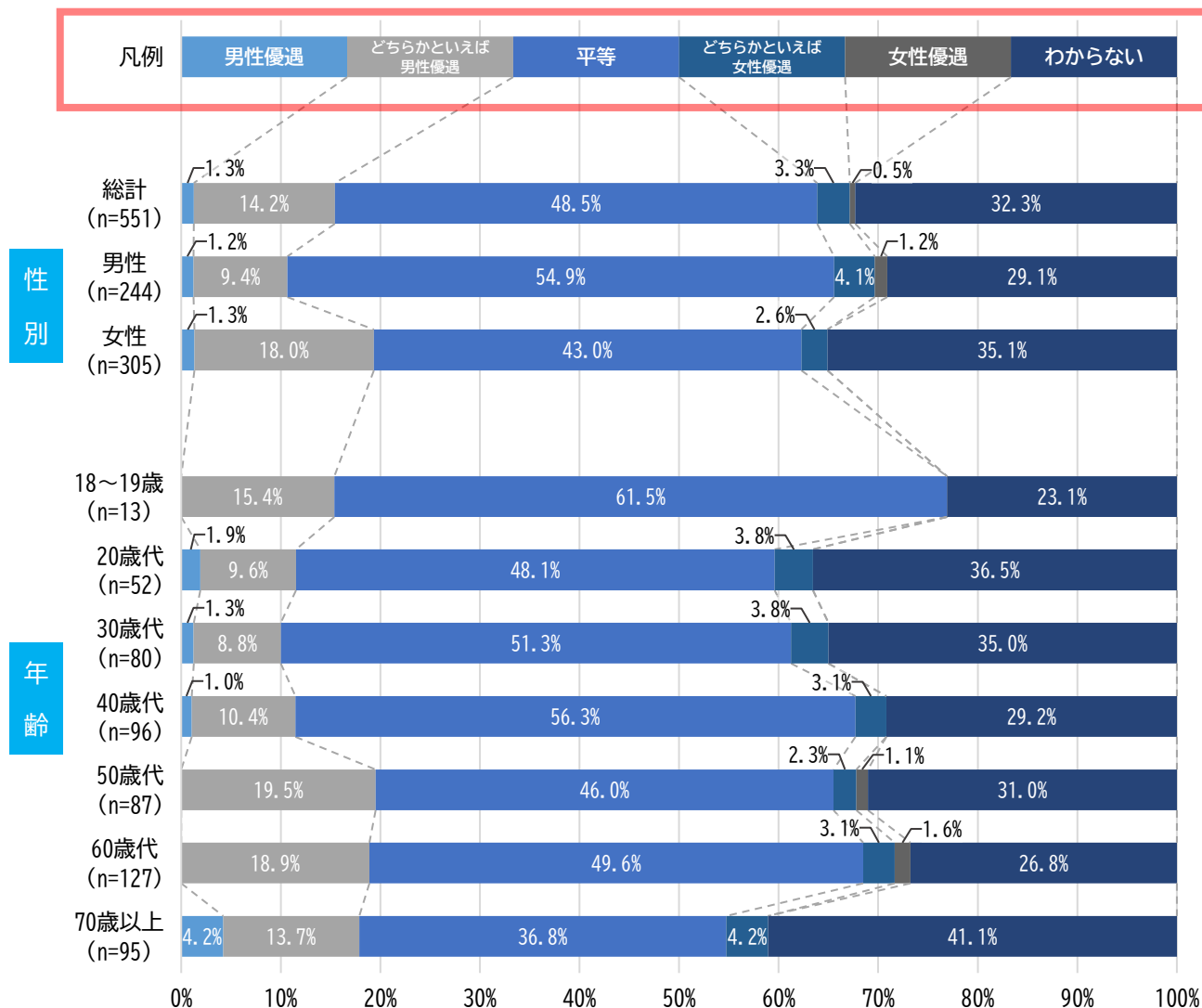


イ 職場

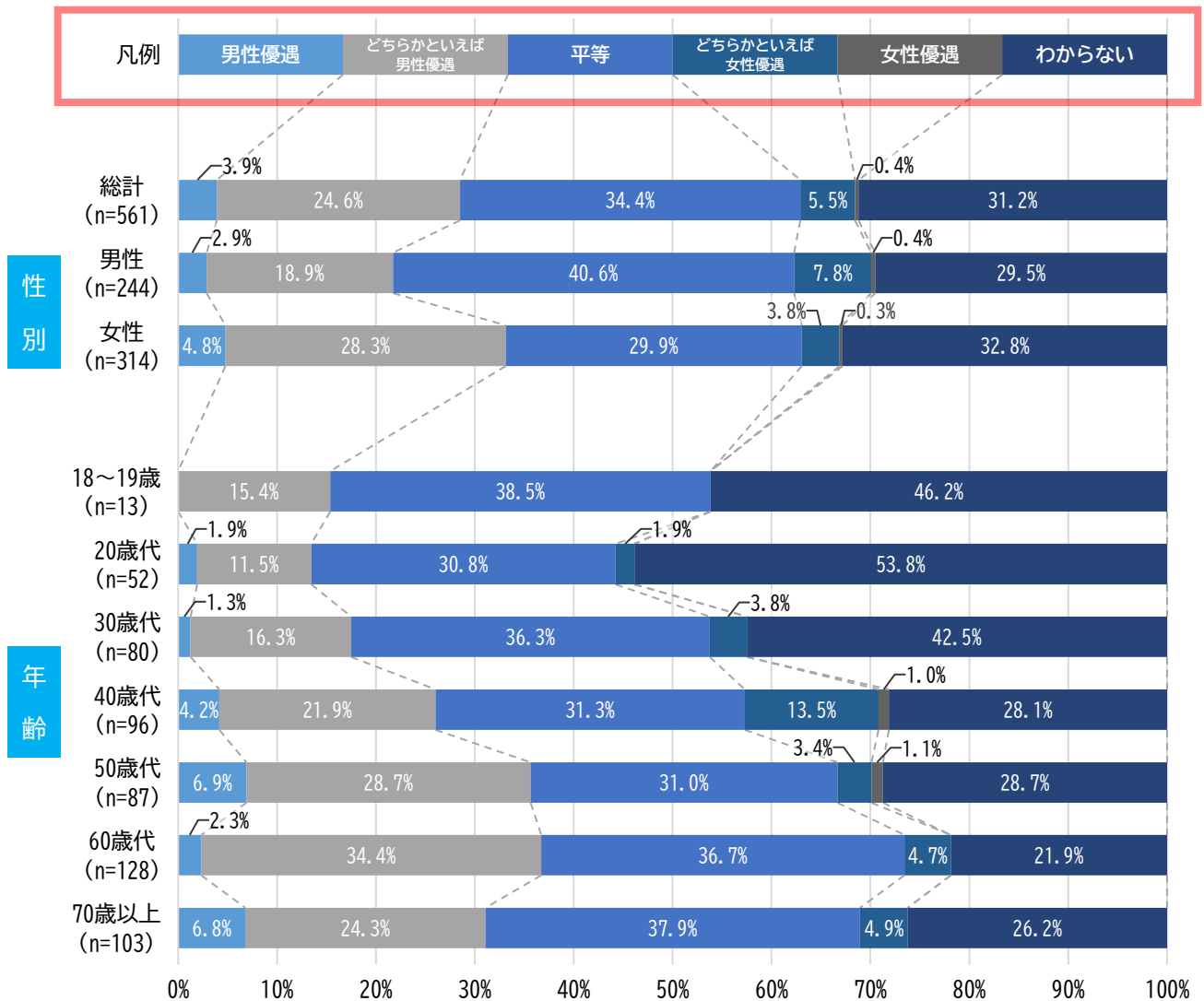


第2章 調査結果

ウ 学校教育

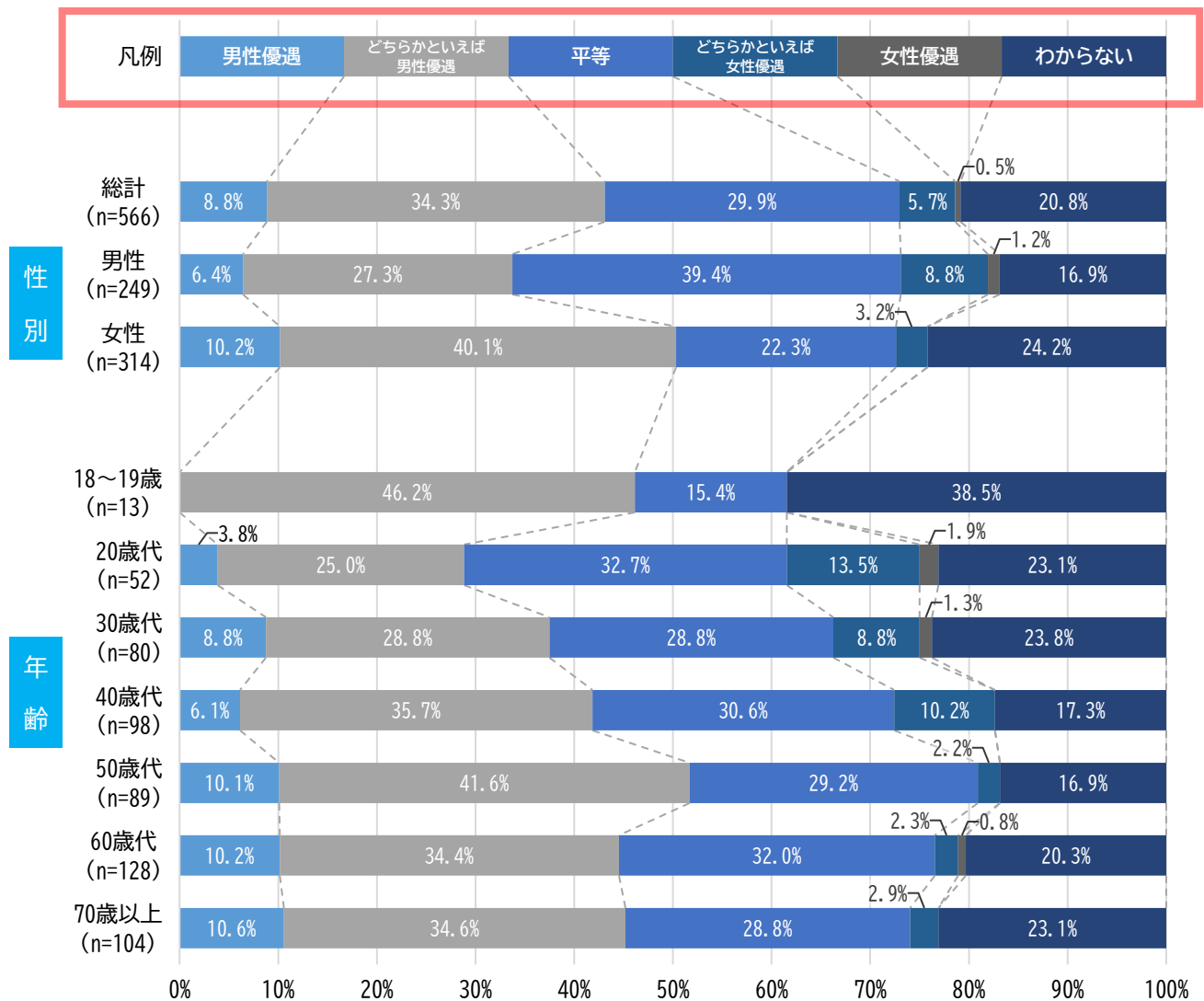


エ 地域活動（町内会やPTA）

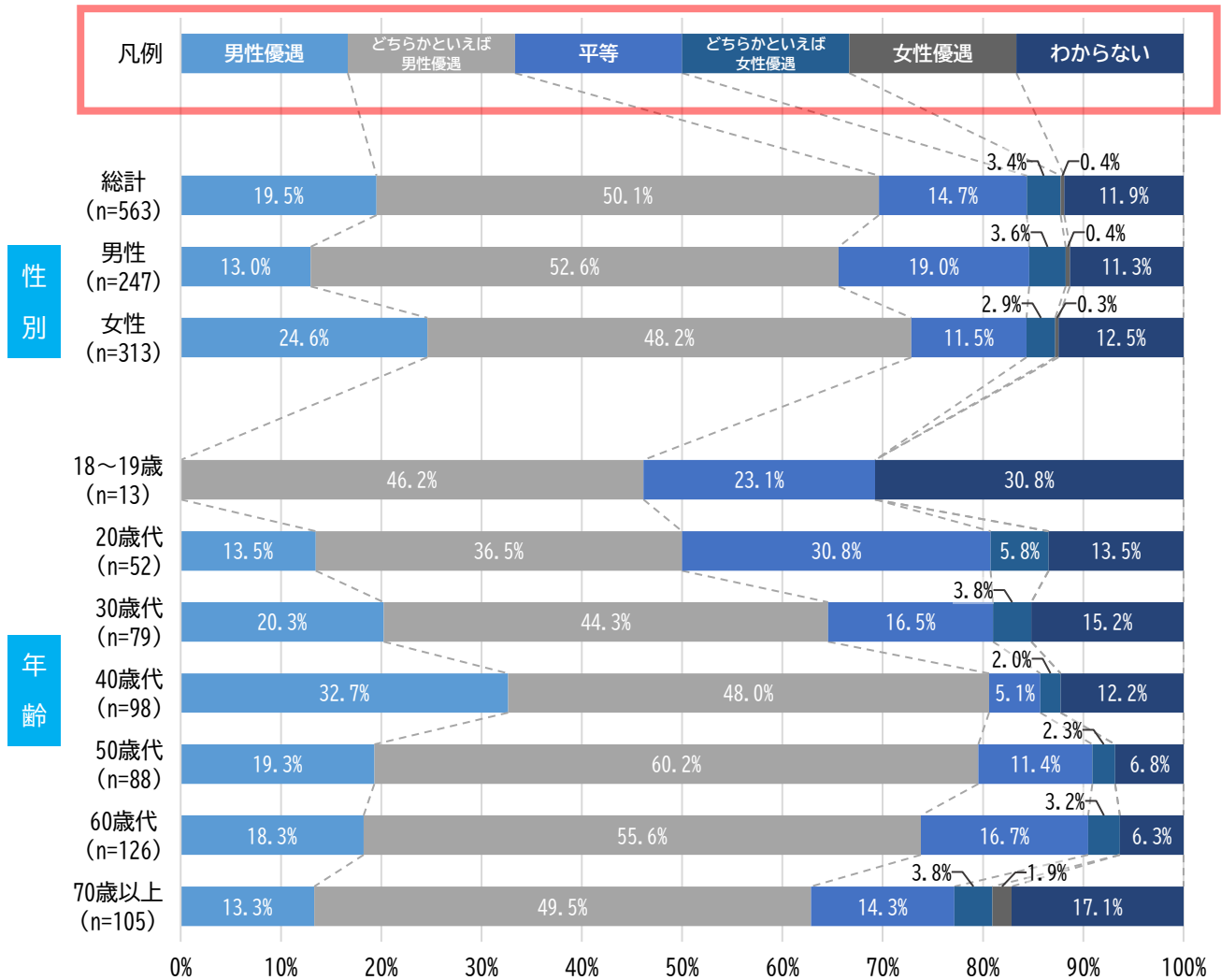


第2章 調査結果

オ 法律や制度

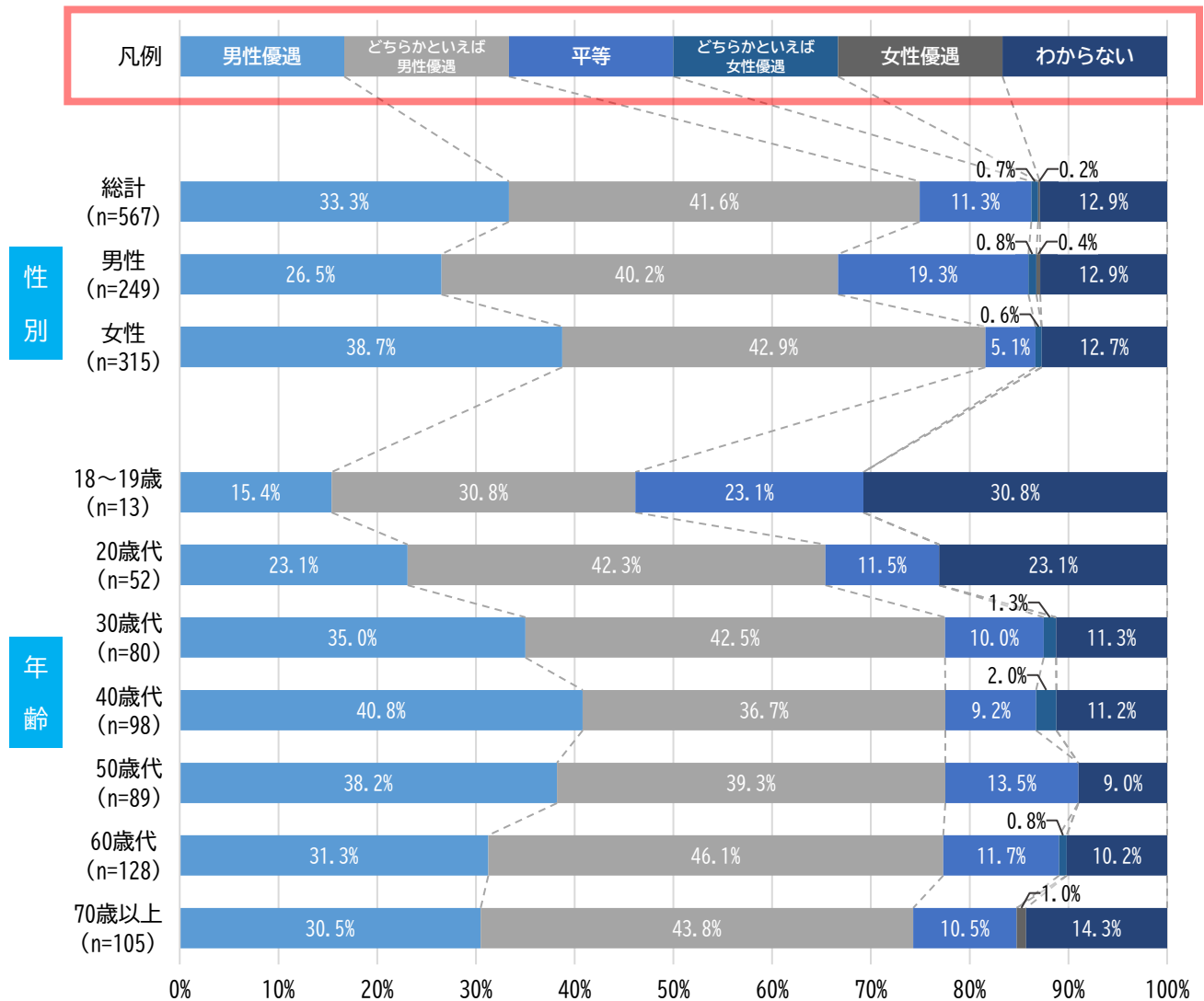


カ 社会通念・慣習・しきたりなど



第2章 調査結果

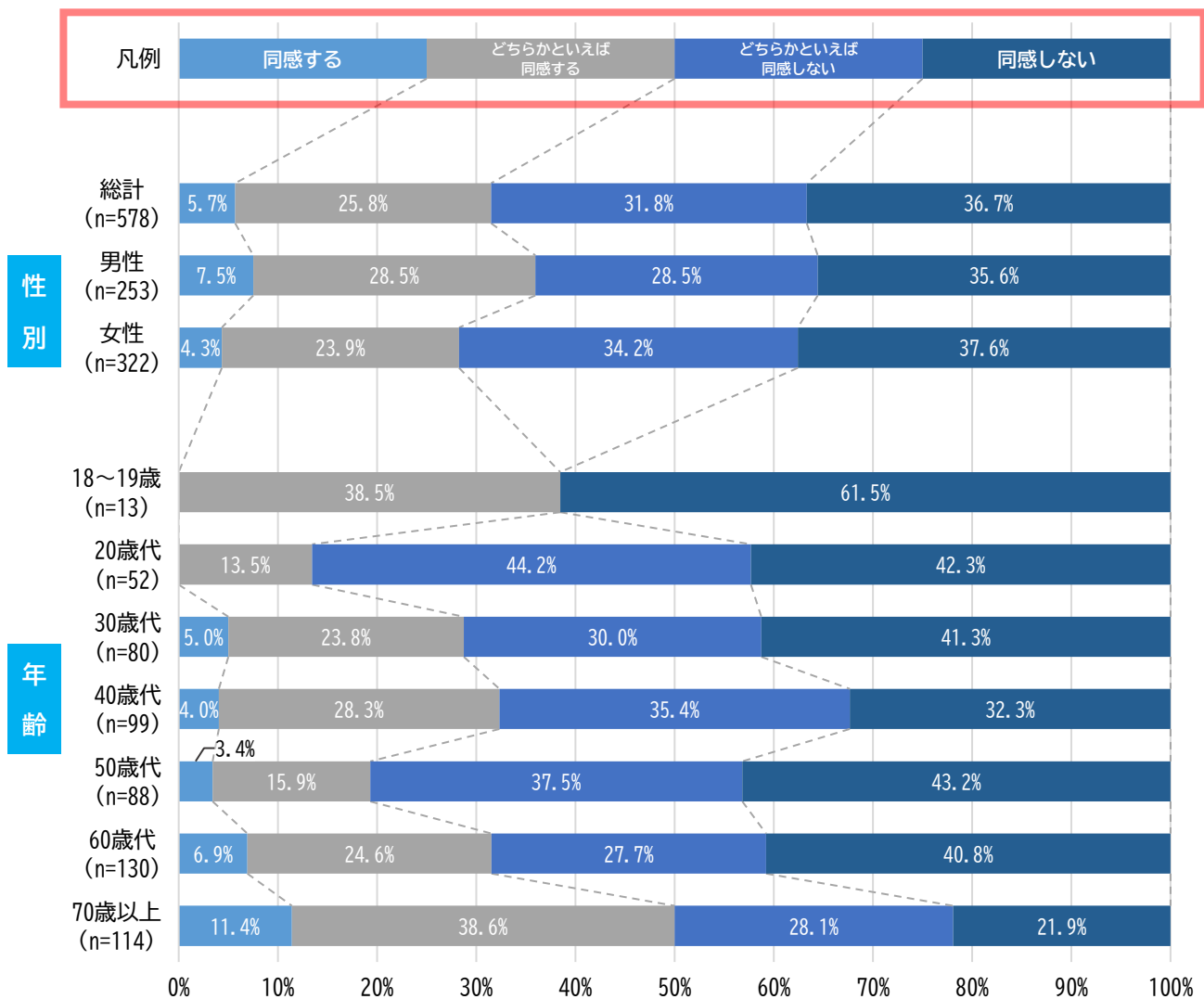
キ 政治



(2) 固定的性別役割分担意識について

問7 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。
あなたの気持ちに最も近い番号を選んでください。(〇は1つ)

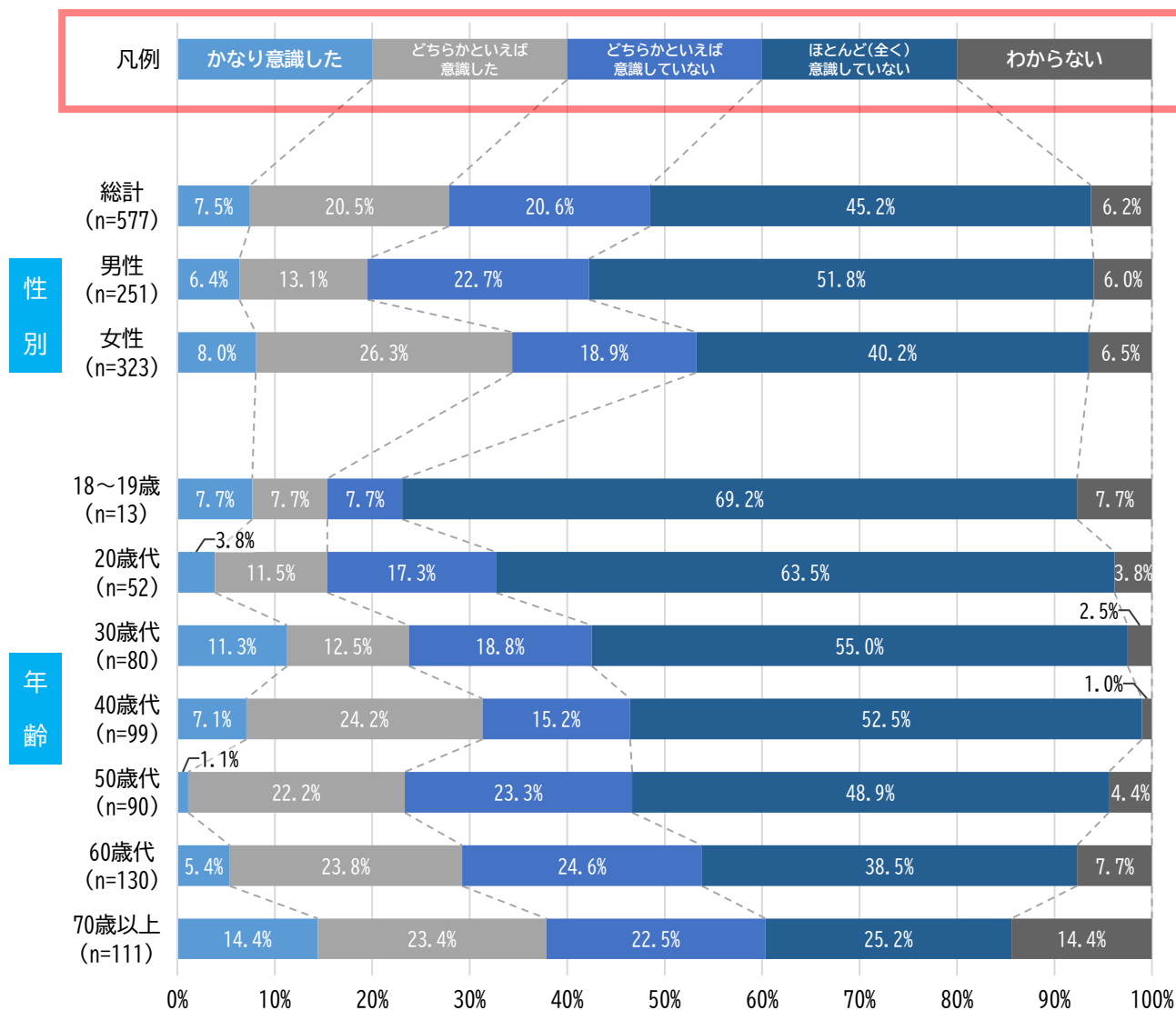
1. 同感する
2. どちらかといえば同感する
3. どちらかといえば同感しない
4. 同感しない



(3) 進路・職業選択について

問8 あなたは、進路や職業を選択する際に、性別を意識しましたか。
あてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

1. 性別をかなり意識して選択した
2. どちらかといえば性別を意識して選択した
3. どちらかといえば性別を意識せずに選択した
4. 性別をほとんど(全く)意識せずに選択した
5. わからない

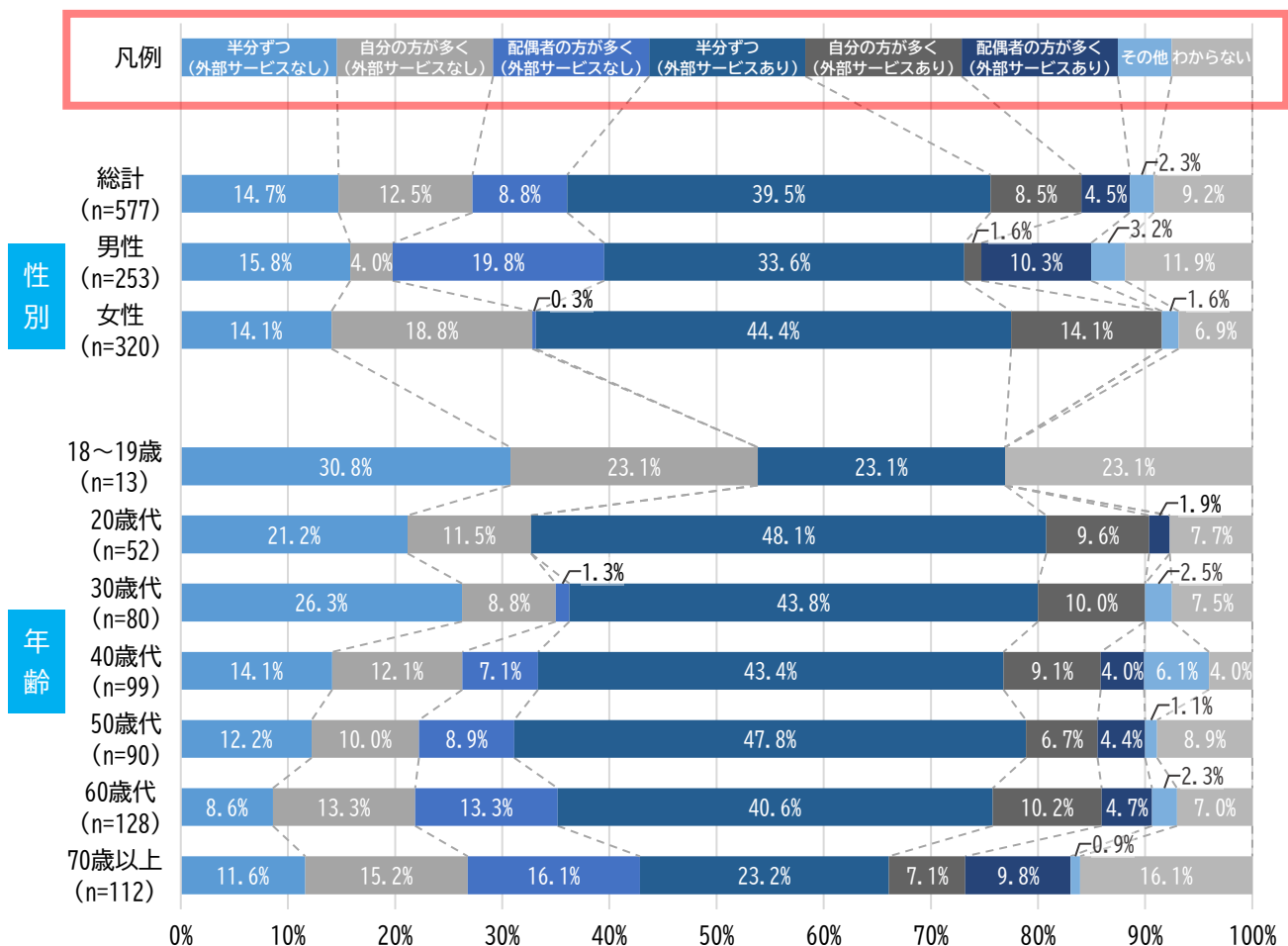


(4) 家事分担の理想について(外部サービスの利用を含む)

問9 あなたは、育児、介護などの家庭で担われている役割について、理想としてあなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。あなたが育児、介護などを行っている、していないに関わらず、保育所、訪問介護、家事代行などの外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近い番号を選んでください。(〇はそれぞれ1つ)
 なお、配偶者のいない方も、配偶者がいることを想定してお答えください。

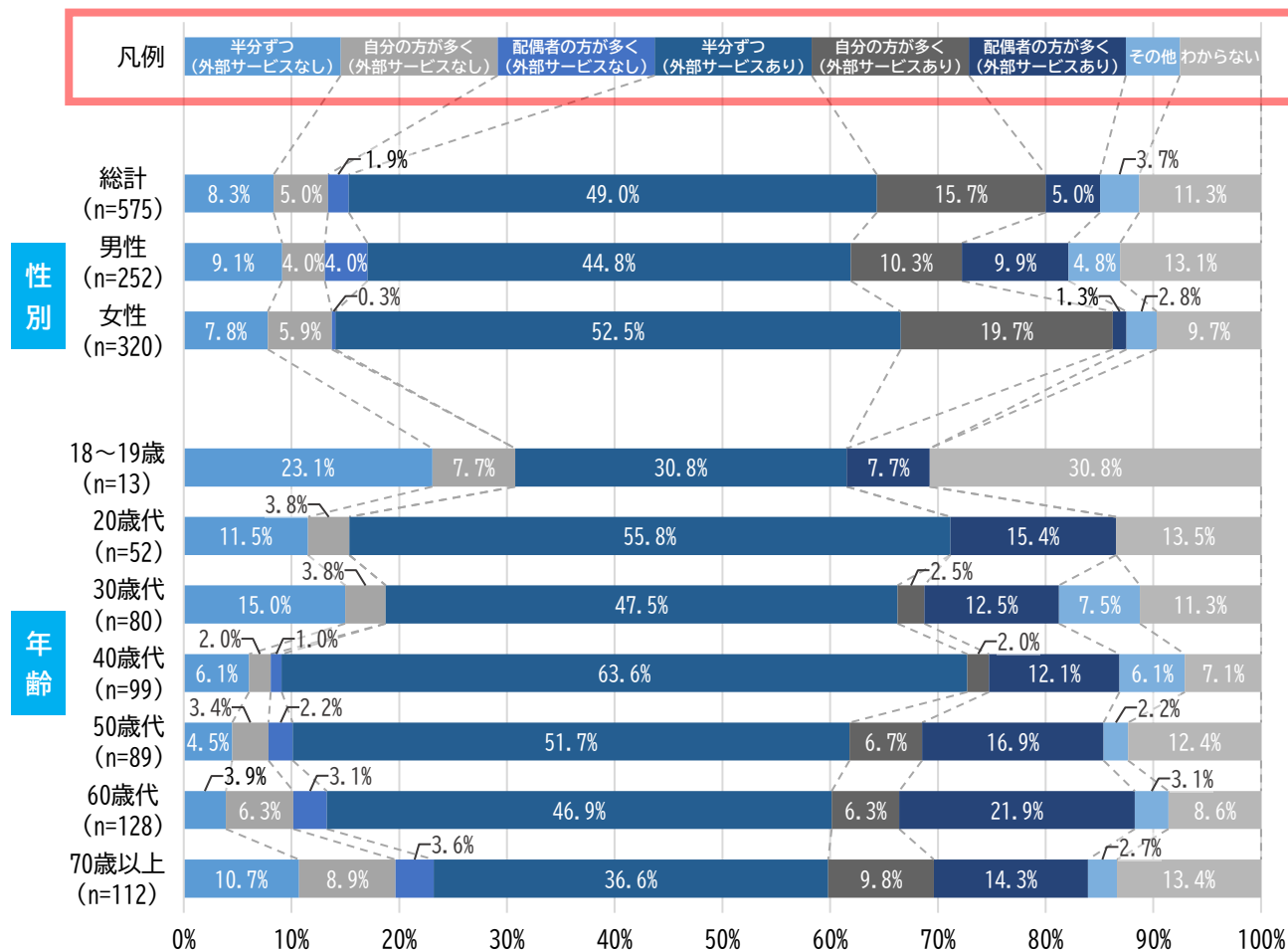
1. 自分と配偶者で半分ずつ分担(外部サービスは利用しない)
2. 自分の方が配偶者より多く分担(外部サービスは利用しない)
3. 配偶者の方が自分より多く分担(外部サービスは利用しない)
4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担
6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担
7. その他
8. わからない

育児

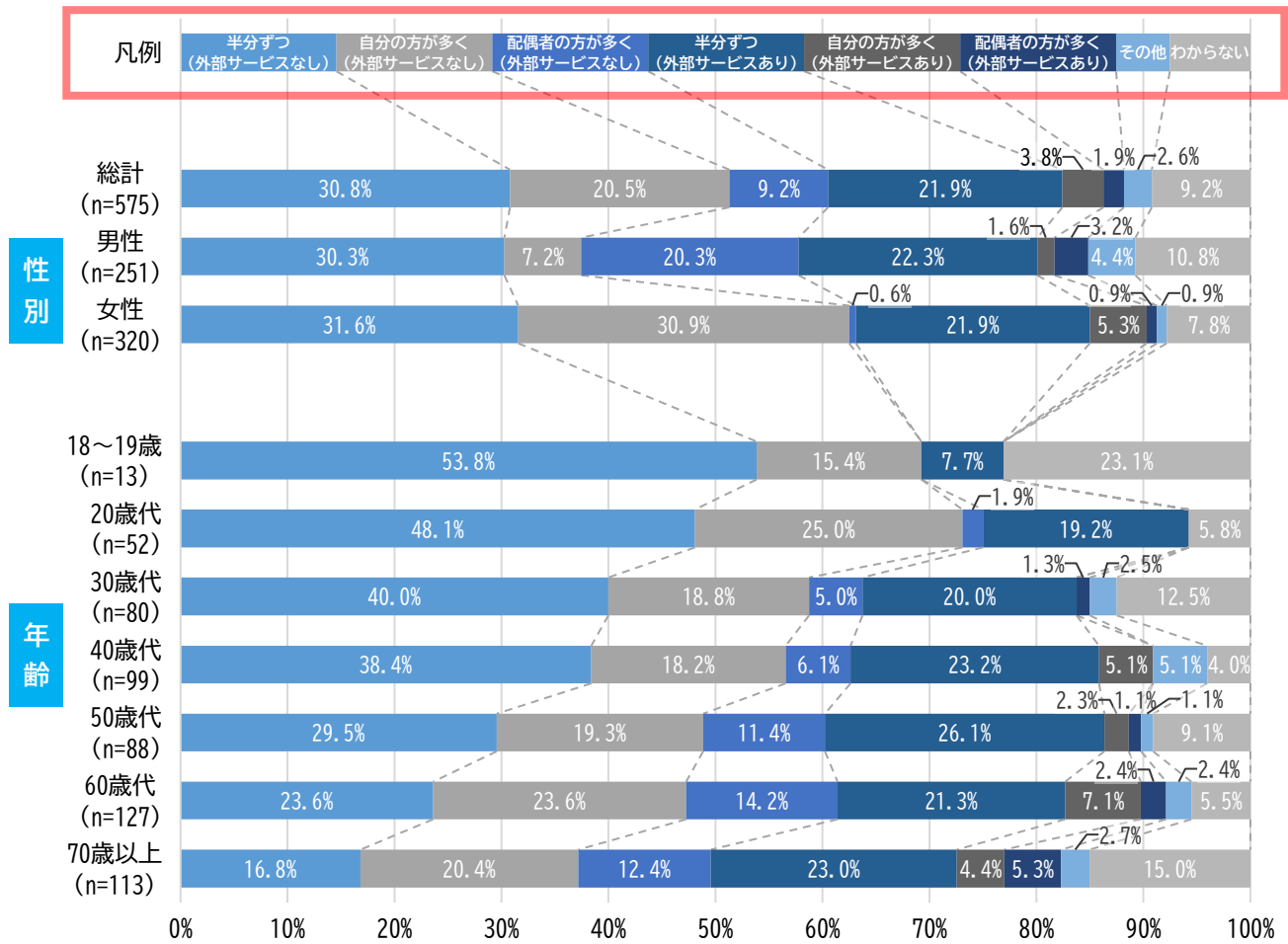


第2章 調査結果

介護



育児・介護以外の家事



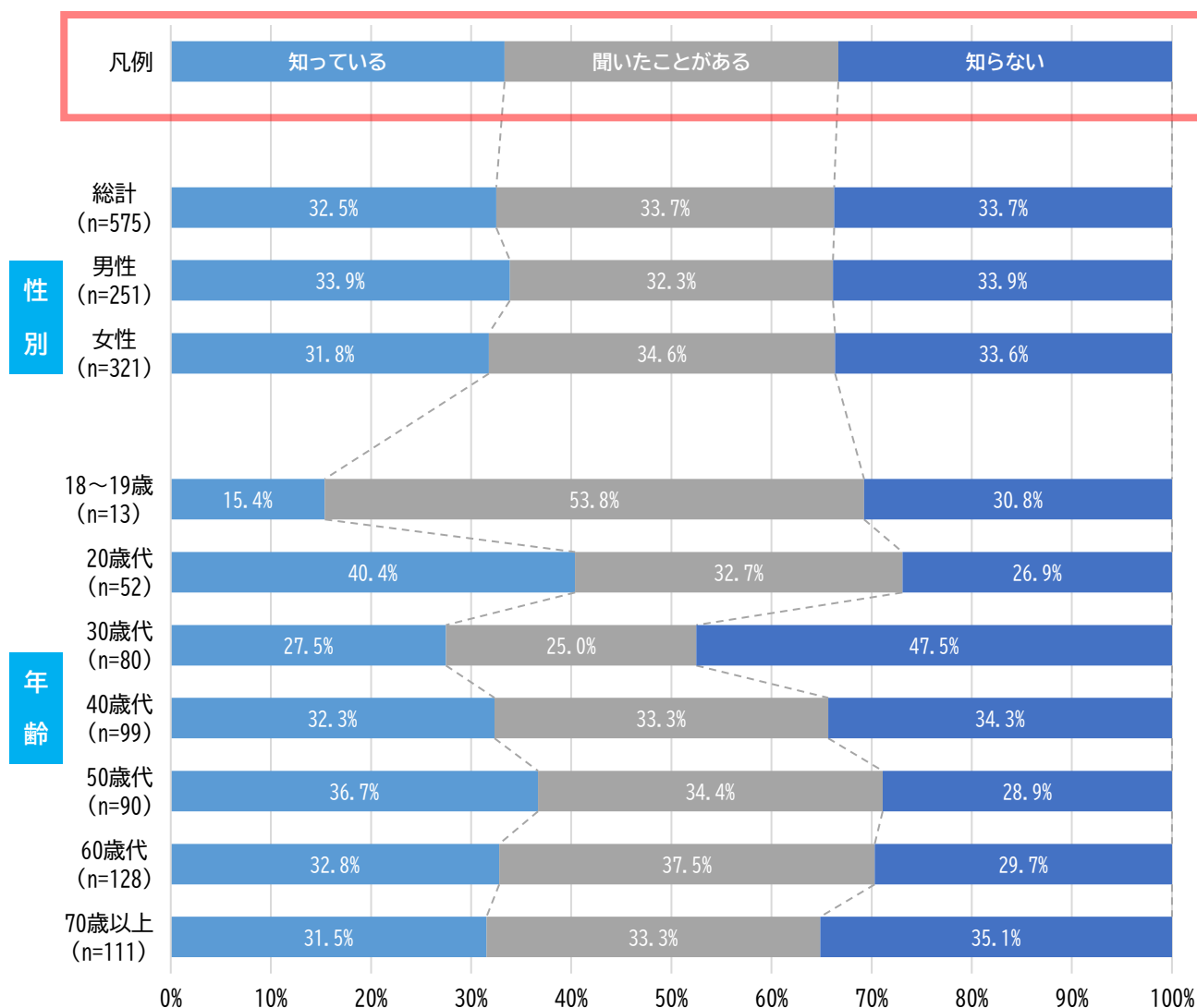
3. 男女共同参画に関する用語及び市事業の認知度について

問10 あなたは、次のア～ケの言葉や市が行っている事業を知っていますか。あてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

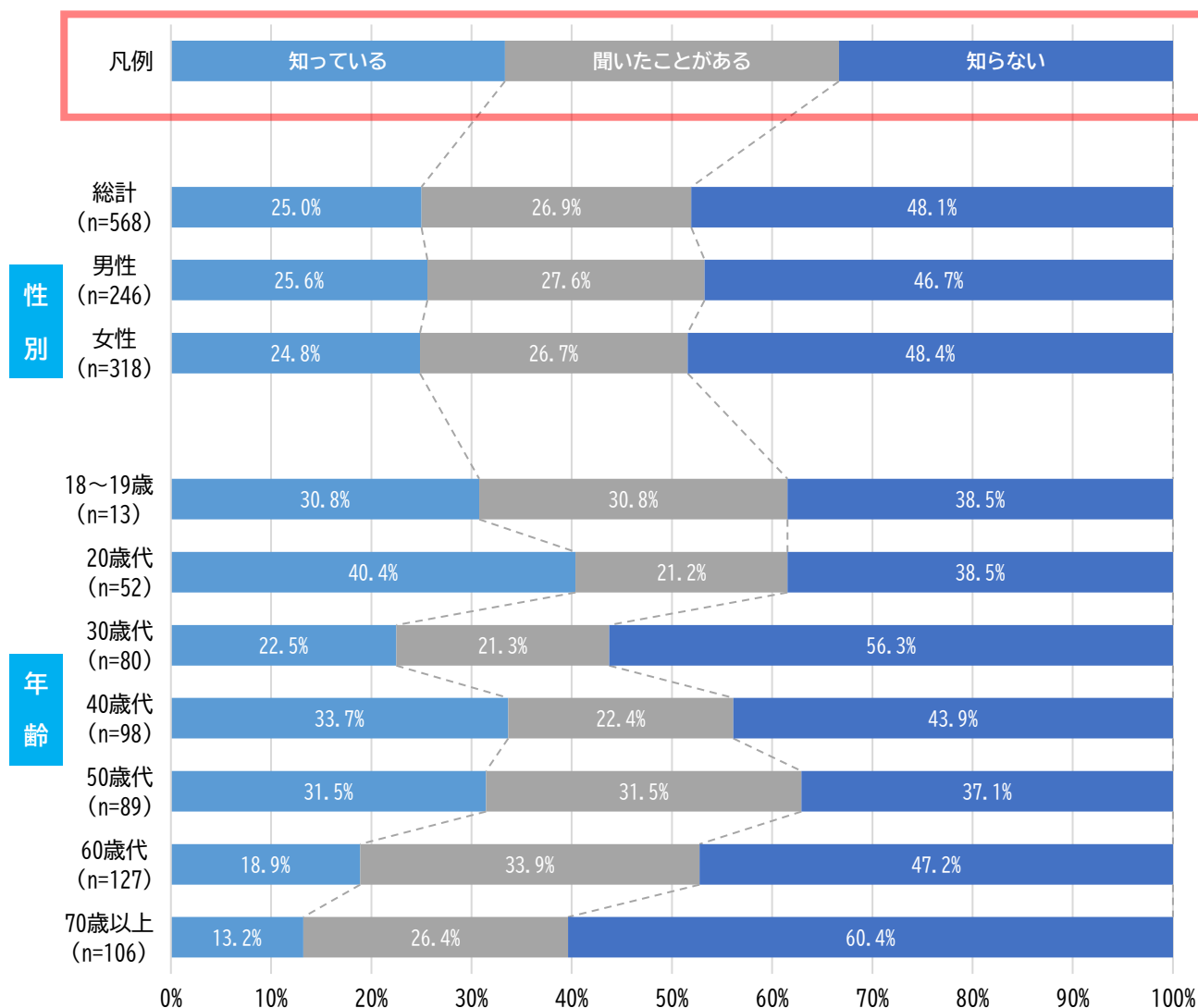
1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らない

(1) 男女共同参画に関する用語について

ア 男女共同参画社会

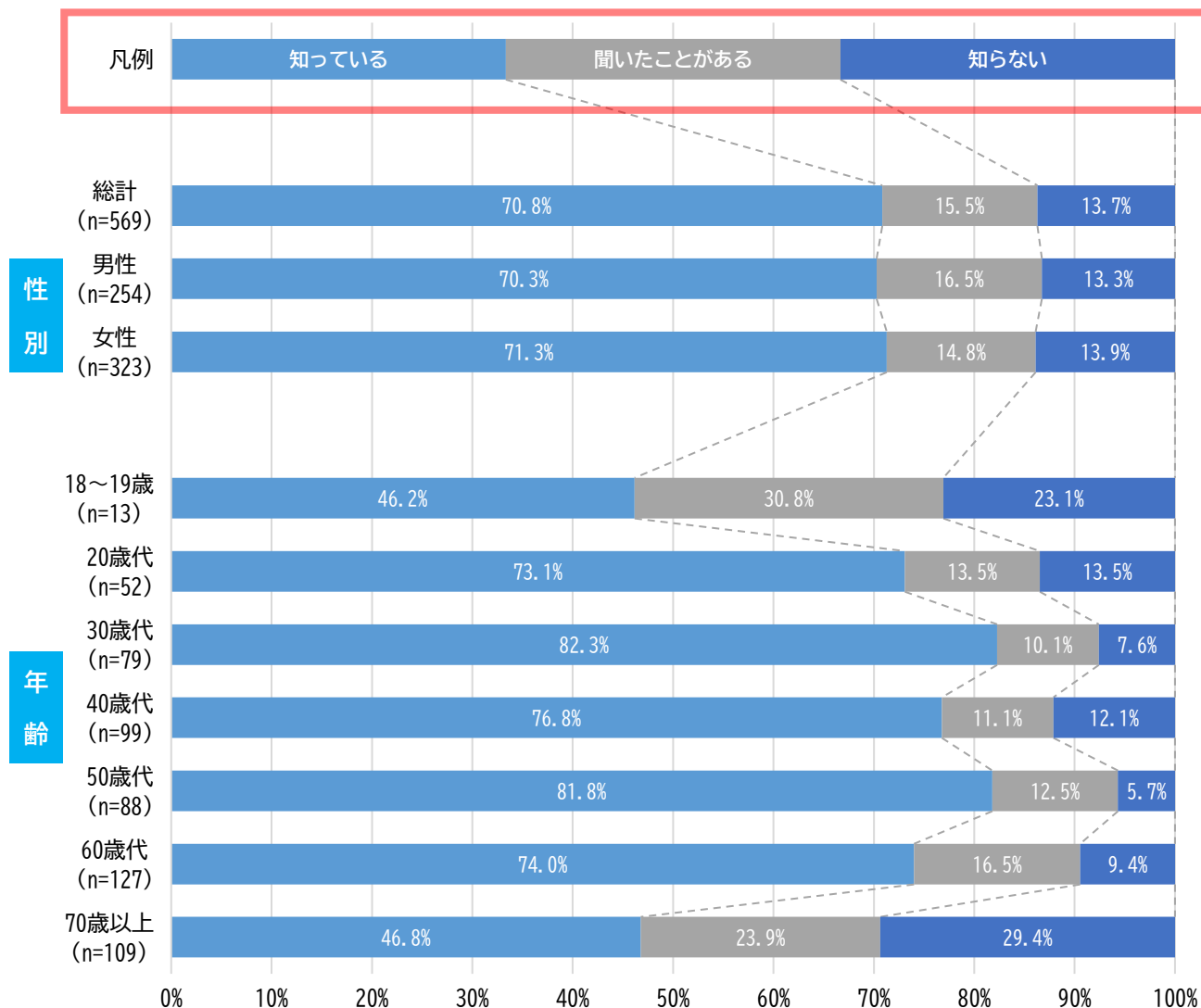


イ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

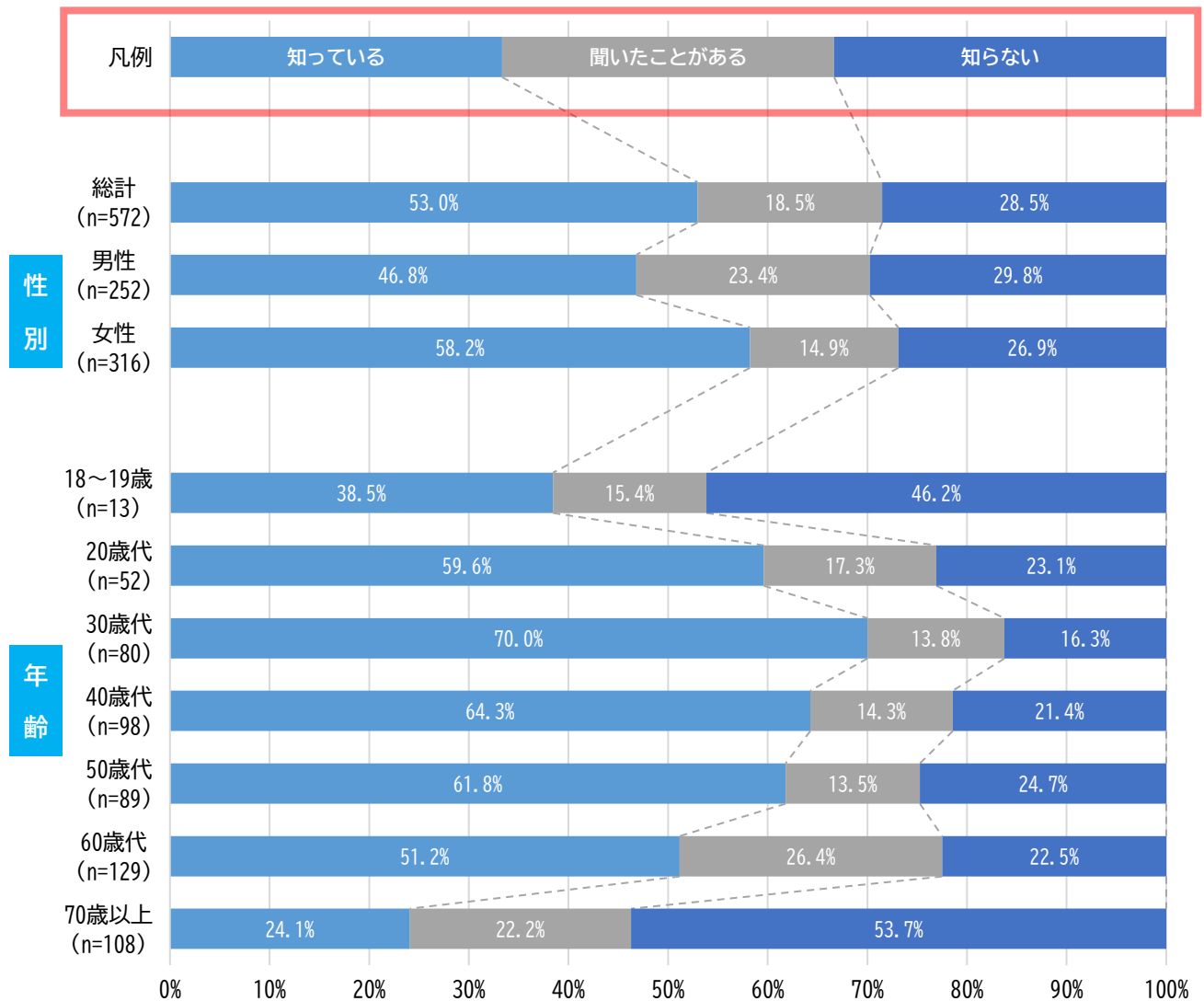


第2章 調査結果

ウ DV(ドメスティック・バイオレンス)

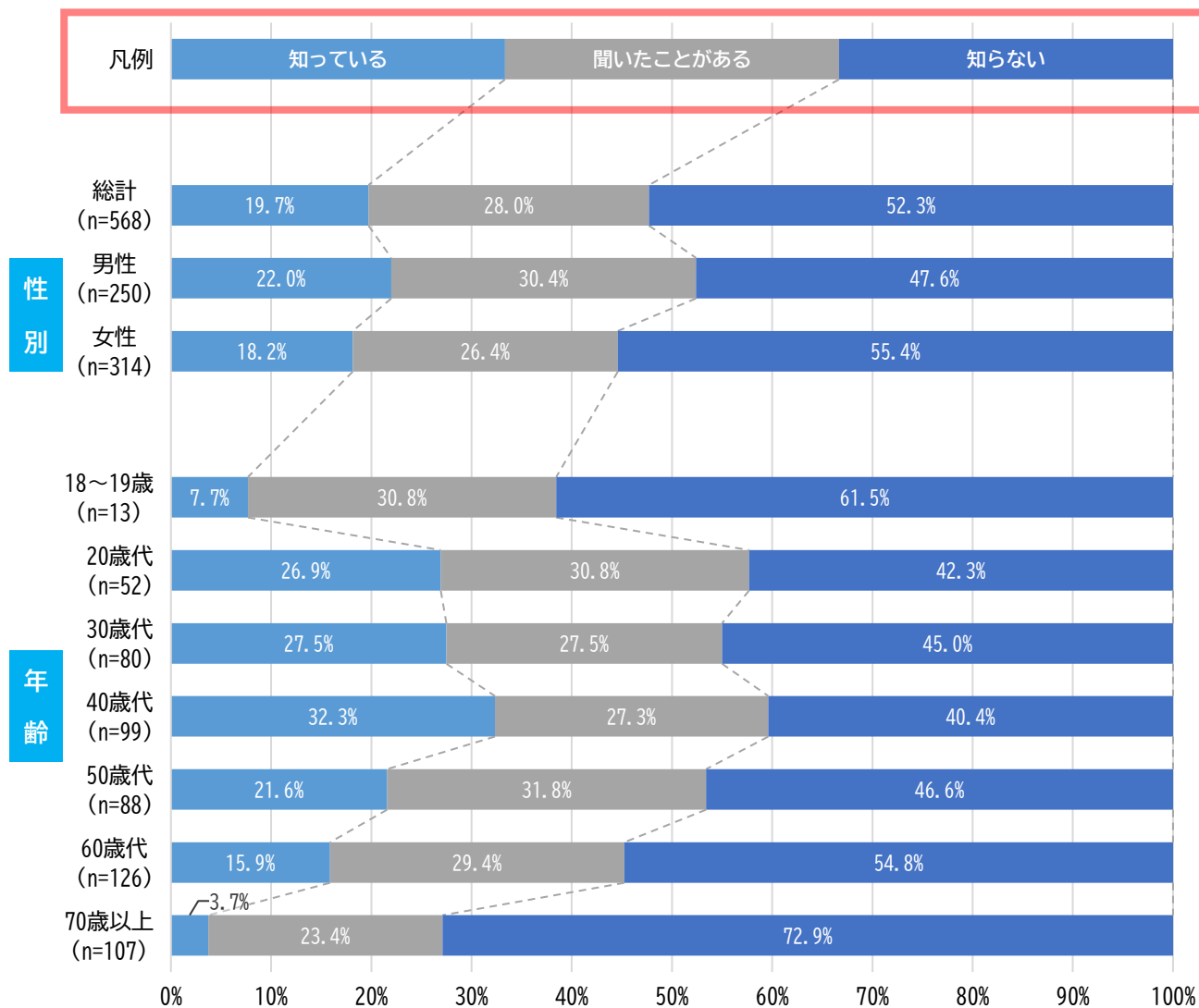


エ LGBT



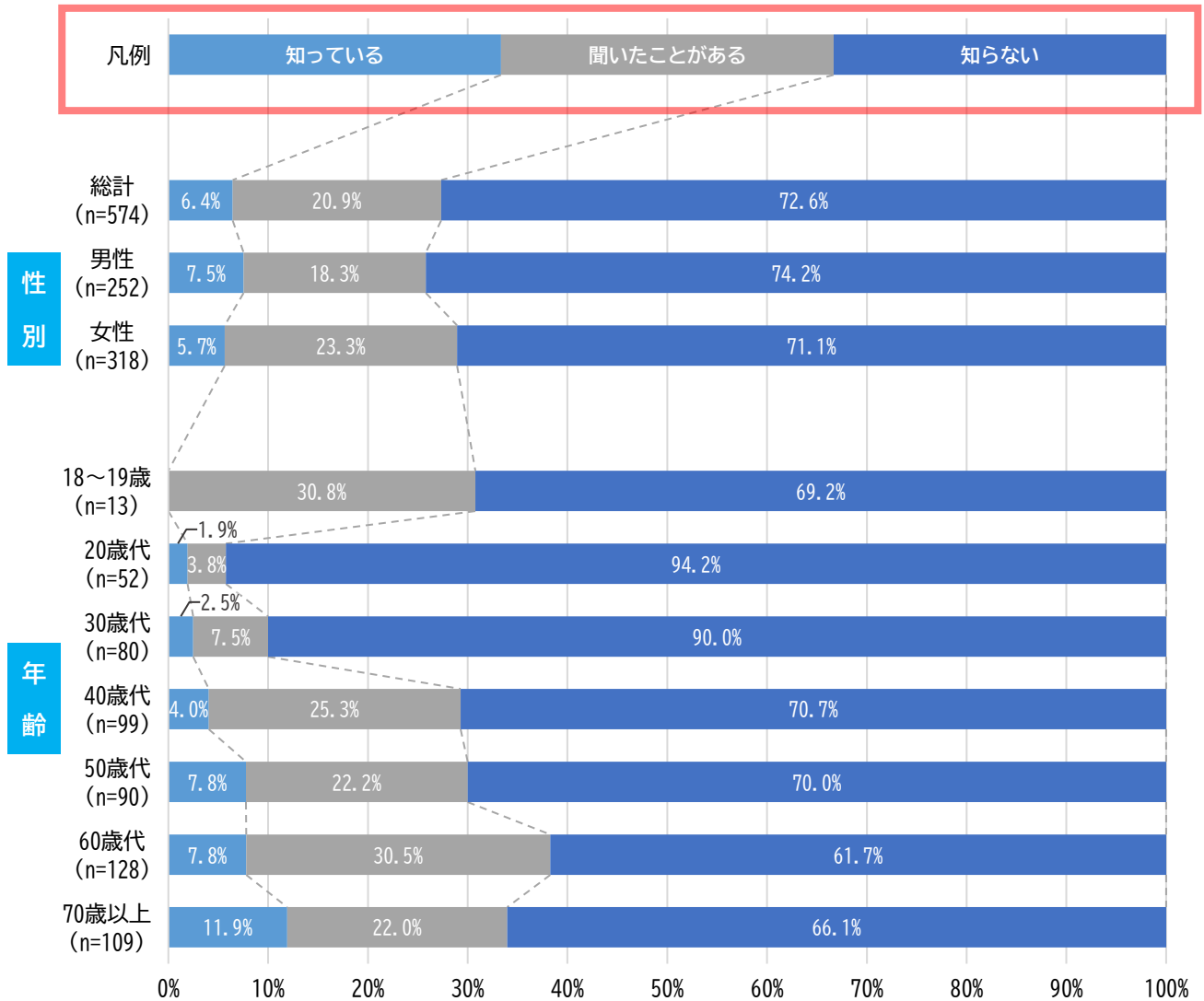
第2章 調査結果

オ ダイバーシティ



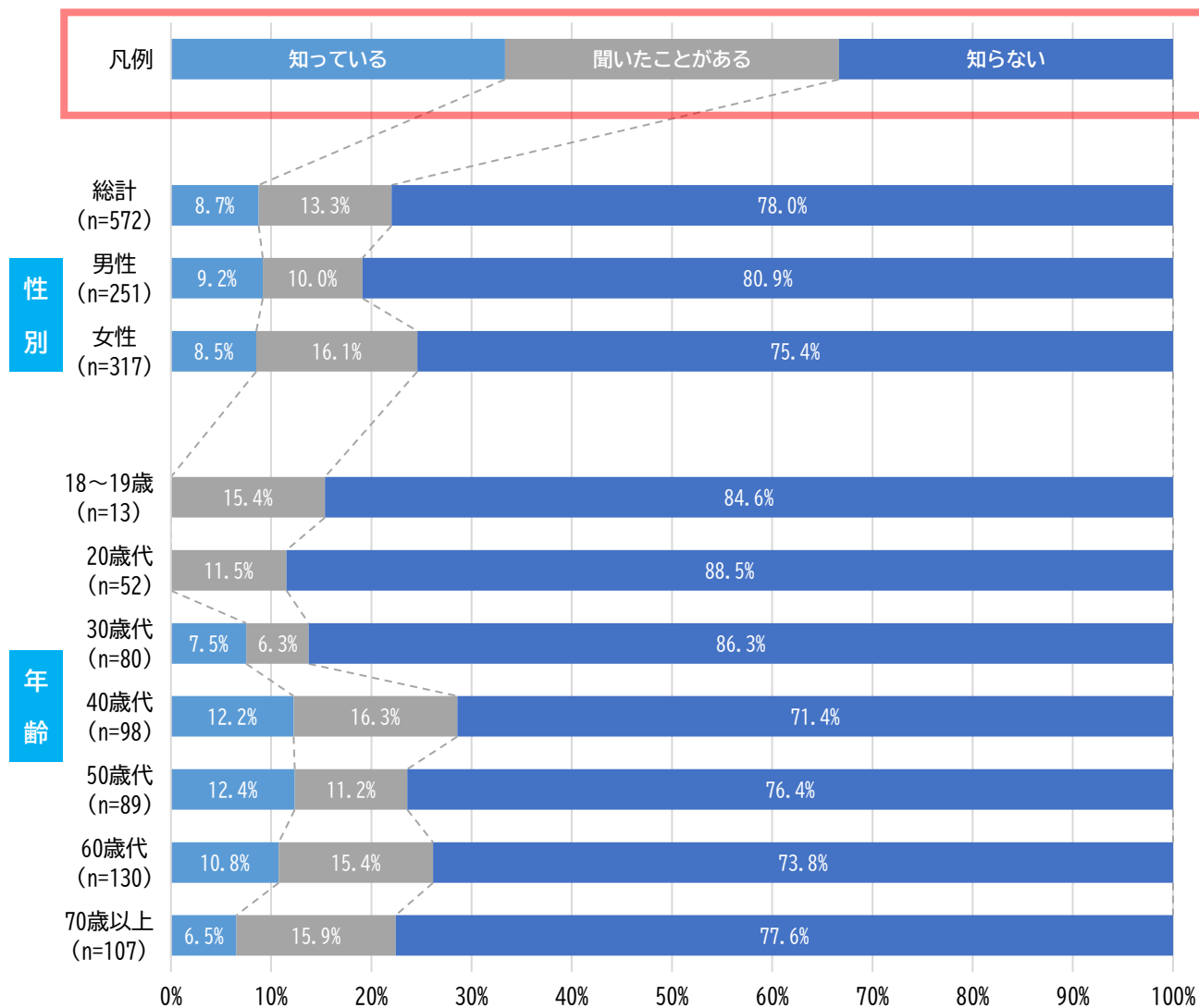
(2) 市の事業について

カ 八戸市男女共同参画推進月間

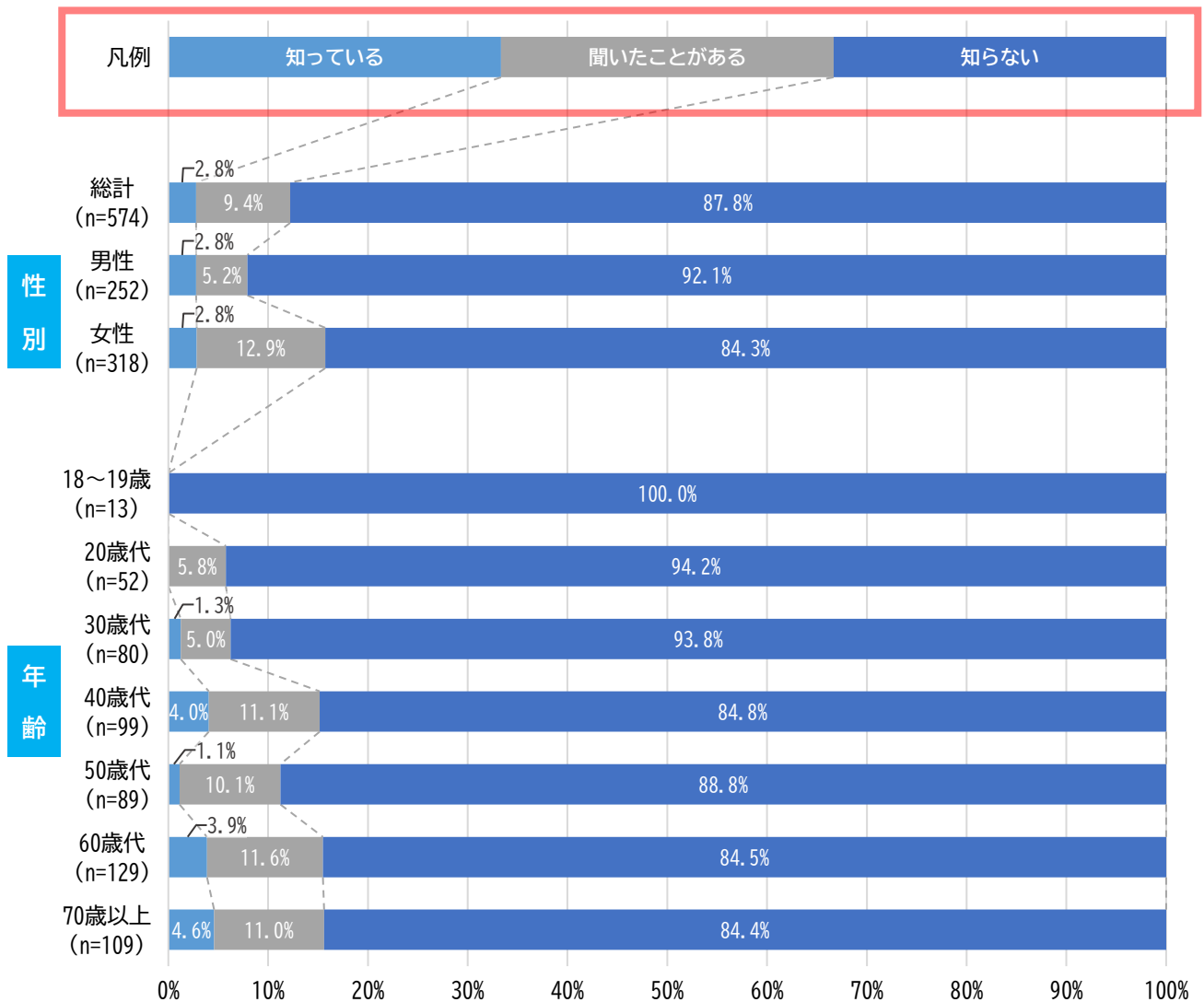


第2章 調査結果

キ 男女共同参画情報誌「WITH YOU」

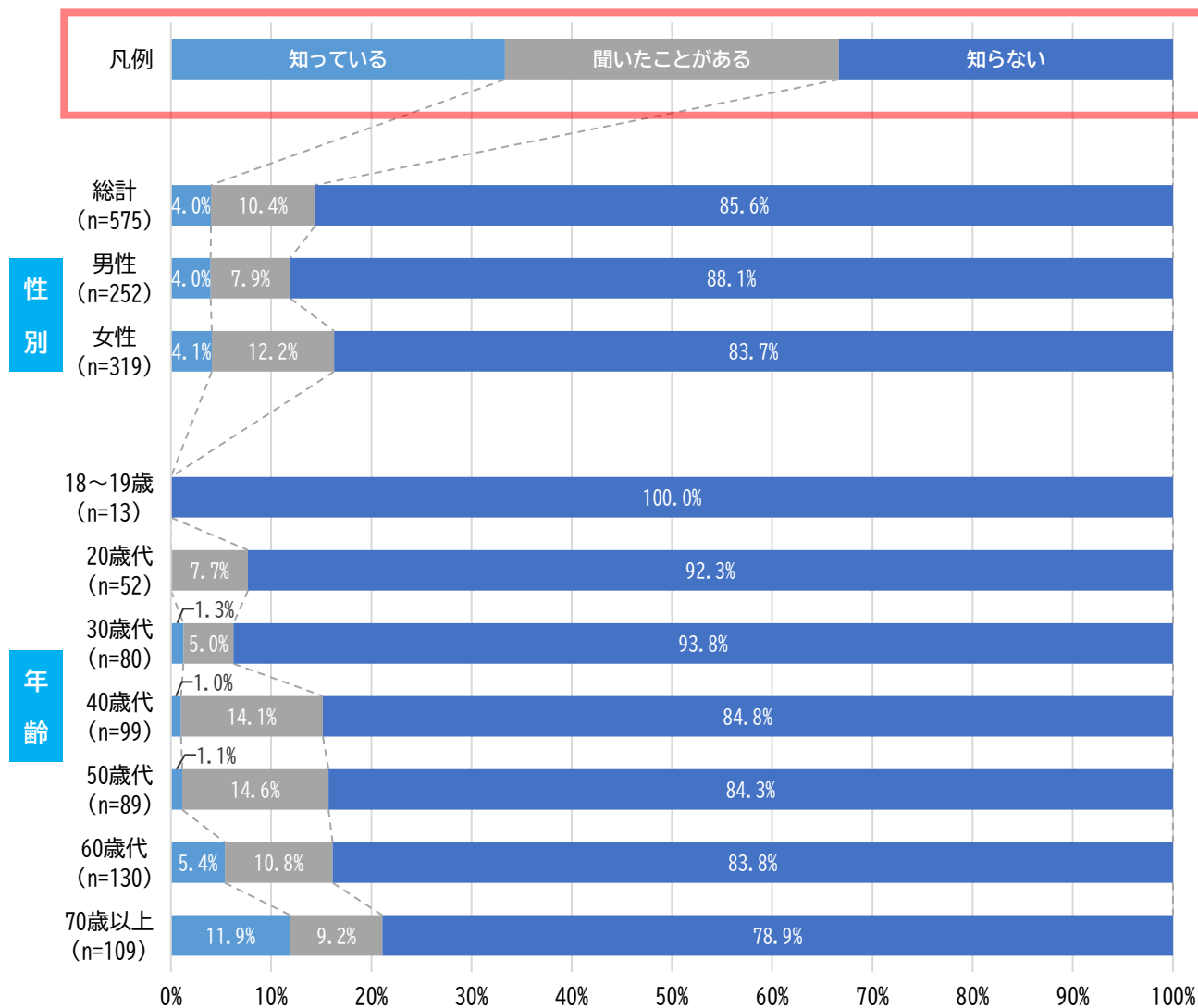


ク 女性チャレンジ講座「女子力向上ゼミナー」



第2章 調査結果

ケ キラッと☆スマイル八戸ナビ 及び キラ☆スタ両立ナビ

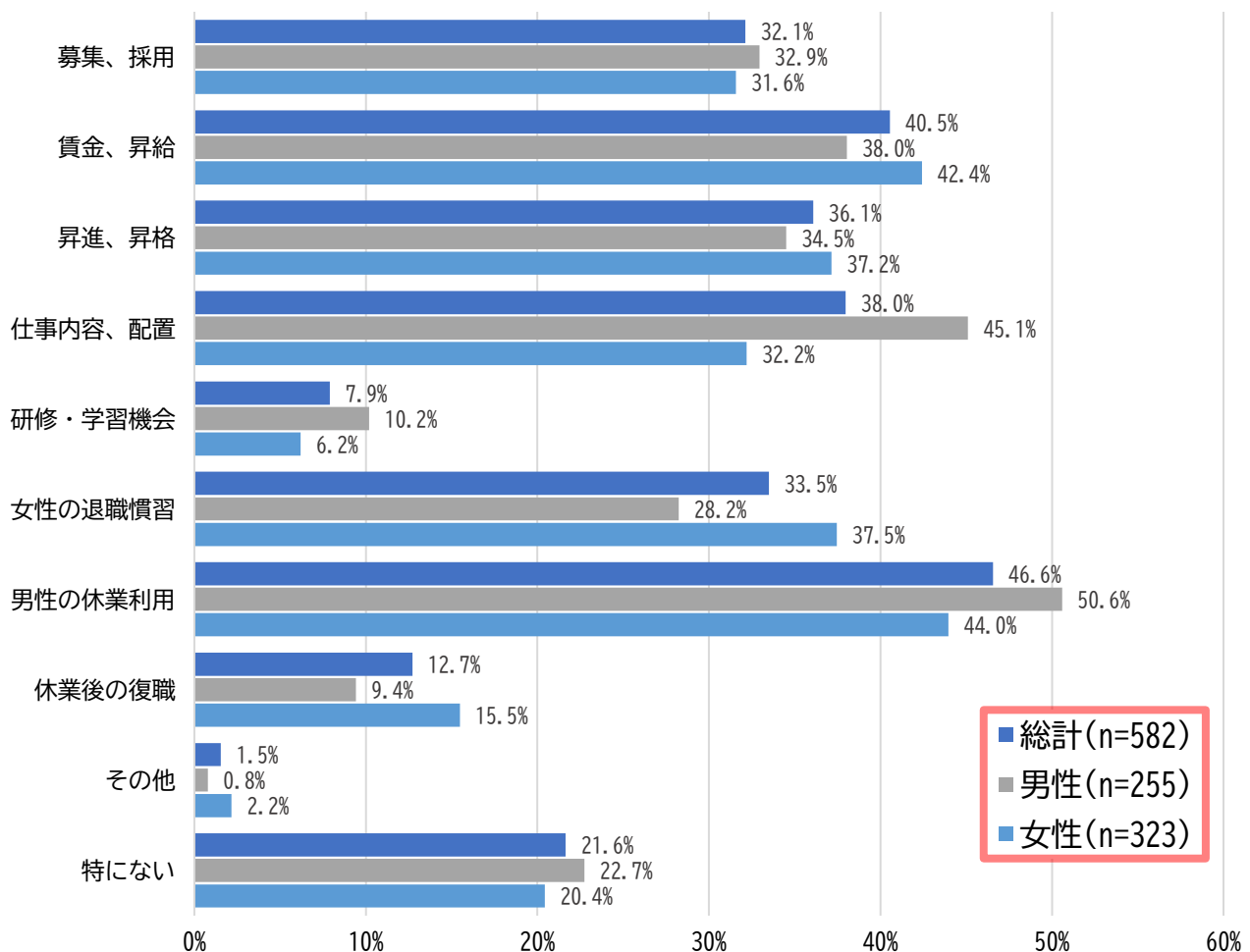


4. 仕事における男女共同参画について

(1) 仕事や就職活動における男女差について

問11 あなたは、これまでに仕事や就職活動等において、男女差などを経験したこと、または感じたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

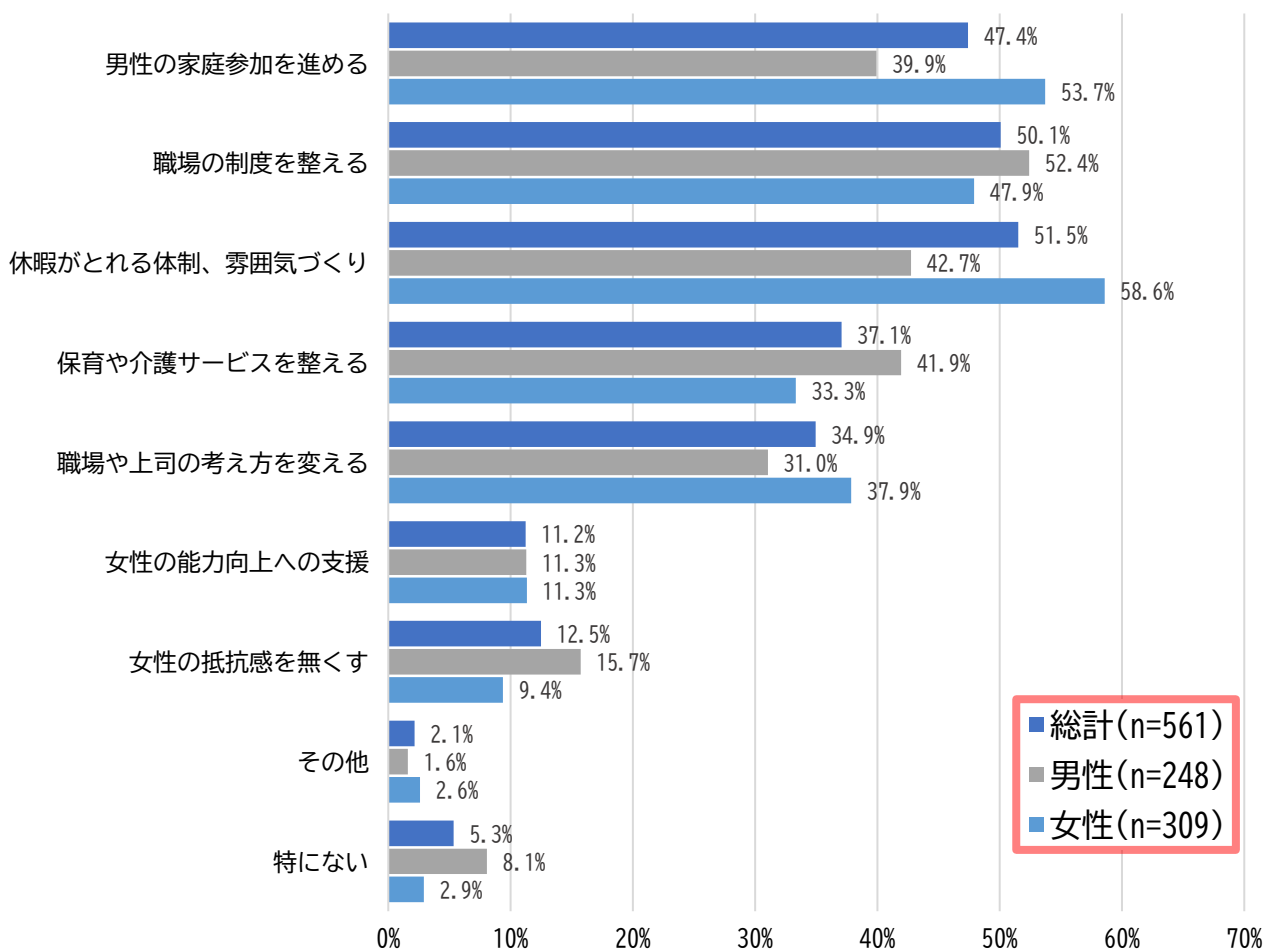
1. 募集や採用の面で男女に差がある
2. 賃金や昇給の面で男女に差がある
3. 昇進や昇格の面で男女に差がある
4. 仕事の内容や配置場所の面で男女に差がある
5. 職場での研修や学習の機会に男女の差がある
6. 女性は結婚や出産を機に退職する慣習や居づらい雰囲気がある
7. 男性は育児休業や介護休業などを利用しにくい慣習や雰囲気がある
8. 育児休業後は元の地位・職務で復職できない
9. その他
10. 特にない



(2) 女性活躍のために必要なことについて

問12 あなたは、女性の職業生活(仕事)における活躍のためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(〇は3つまで)

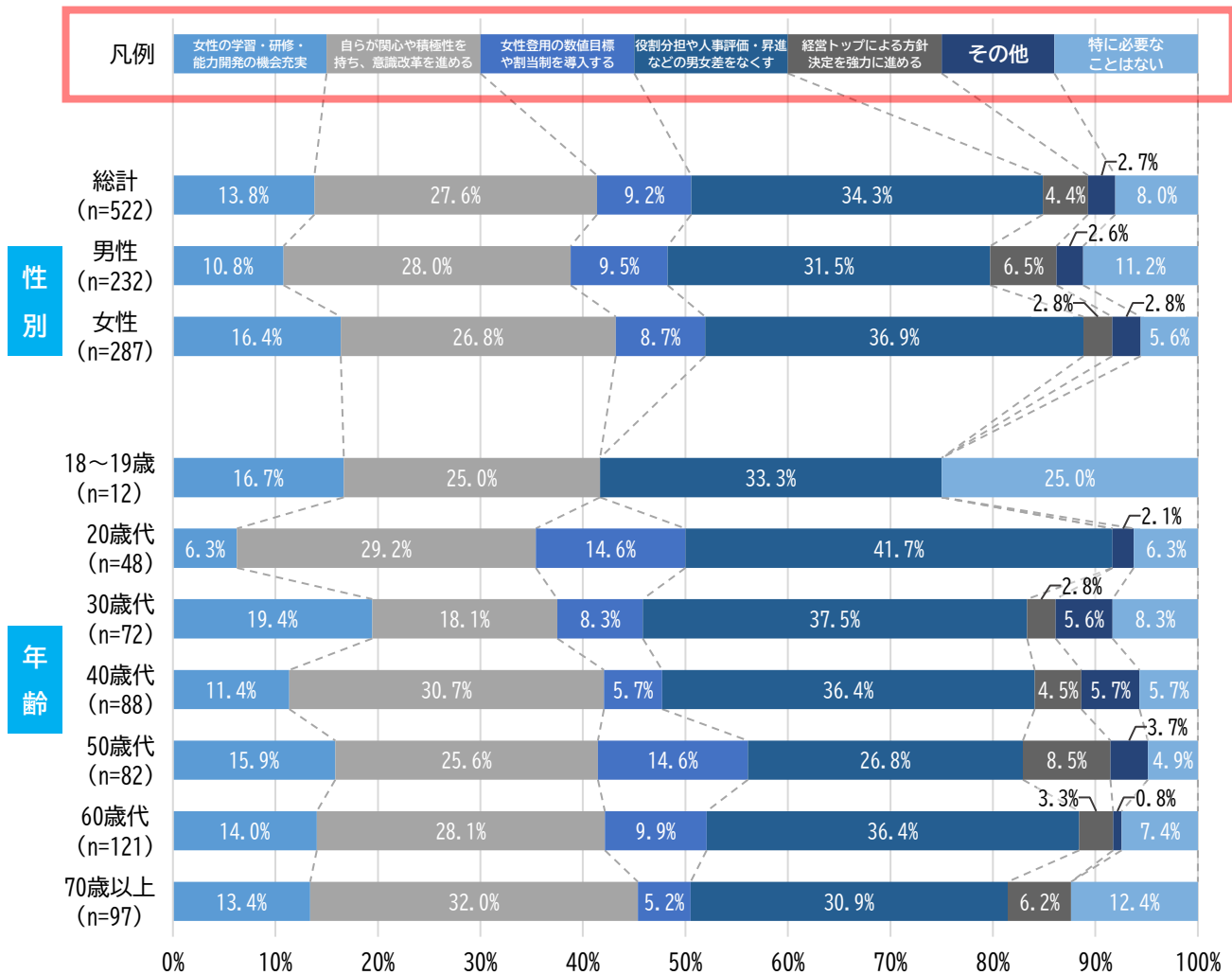
1. 男性の、家事や育児、介護などの家庭参加を進める
2. 職場での制度(育児休業、介護休暇等)を整える
3. 突発的な状況でも休暇が取得可能な業務体制の整備や雰囲気づくりをする
4. 保育や介護サービスなどの環境を整える
5. 職場や上司の考え方を変える
6. 女性の能力向上に向けた支援を行う
7. 女性自身の仕事に対する責任や期待への抵抗感を無くする
8. その他
9. 特に必要なことはない



(3) 女性の登用拡大のために必要なことについて

問13 あなたは、企業や行政などの職場において、管理職など責任のある職務や指導的地位などに女性を増やすために、何が最も有効だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(〇は1つ)

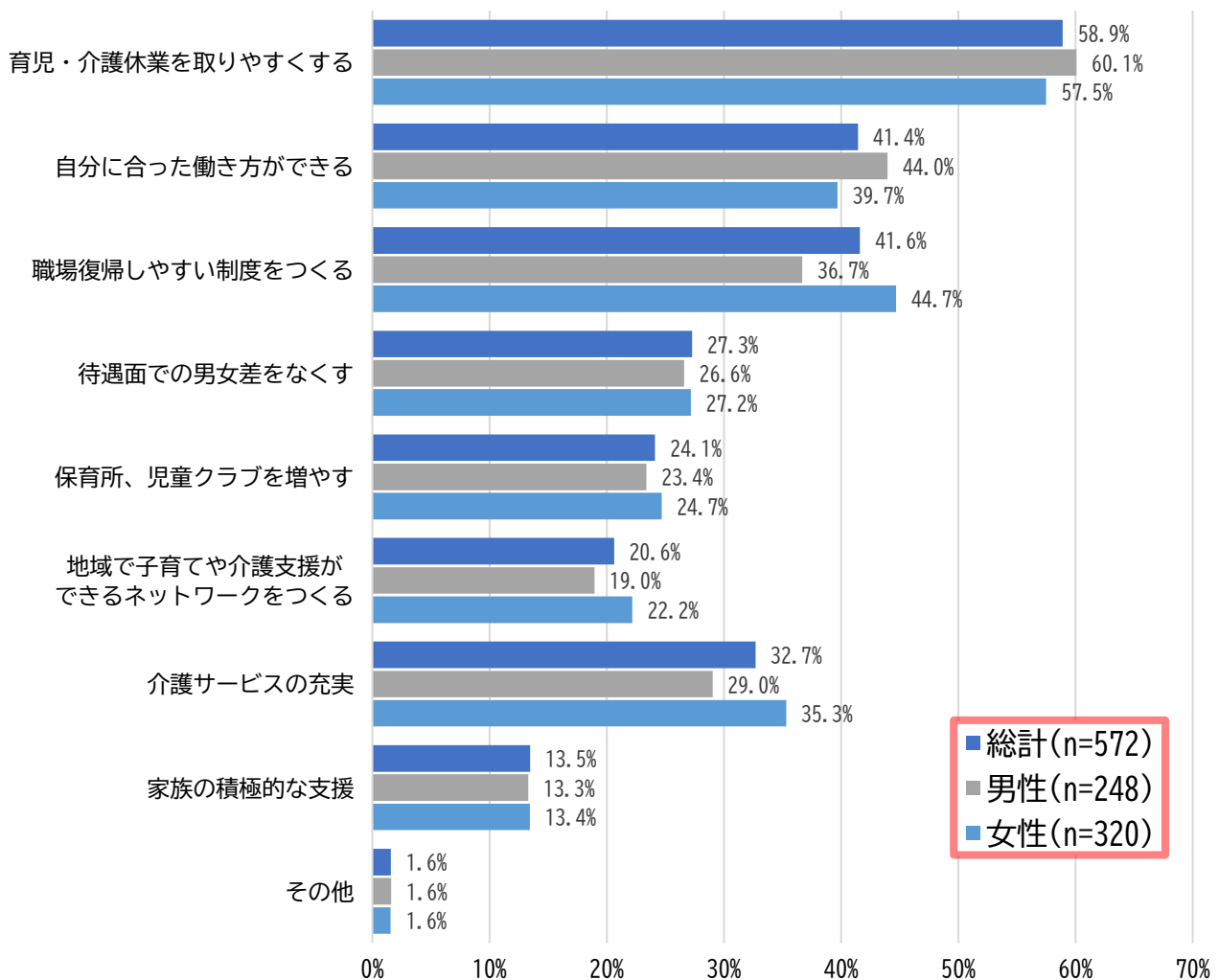
1. 女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる
2. 女性も男性も自らが関心や積極性を持ち、意識改革を進める
3. 経営者が、女性の管理職や指導的地位への登用の数値目標の設定や割当制を導入する
4. 仕事の役割分担や人事評価・昇進などにおいて男女差をなくす
5. 経営トップによる方針決定を強力に進める
6. その他
7. 特に必要なことはない



(4) 男女が共に働きやすい環境づくりのために必要なことについて

問14 あなたは、男性にとっても女性にとっても働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。
(○は3つまで)

1. 男性も女性も育児休業や介護休業などを取りやすくする
2. 労働時間の短縮や在宅勤務など、自分に合った働き方ができる
3. 子育てや介護のために仕事をやめた人が、職場復帰しやすい制度をつくる
4. 賃金や昇進などの待遇面における男女差をなくす
5. 保育所、放課後児童クラブなどの数や場所を増やす
6. 地域全体で、子育てや介護支援ができるネットワークをつくる
7. 高齢者・病人の施設、介護サービスを充実させる
8. 家族の積極的な支援や協力
9. その他



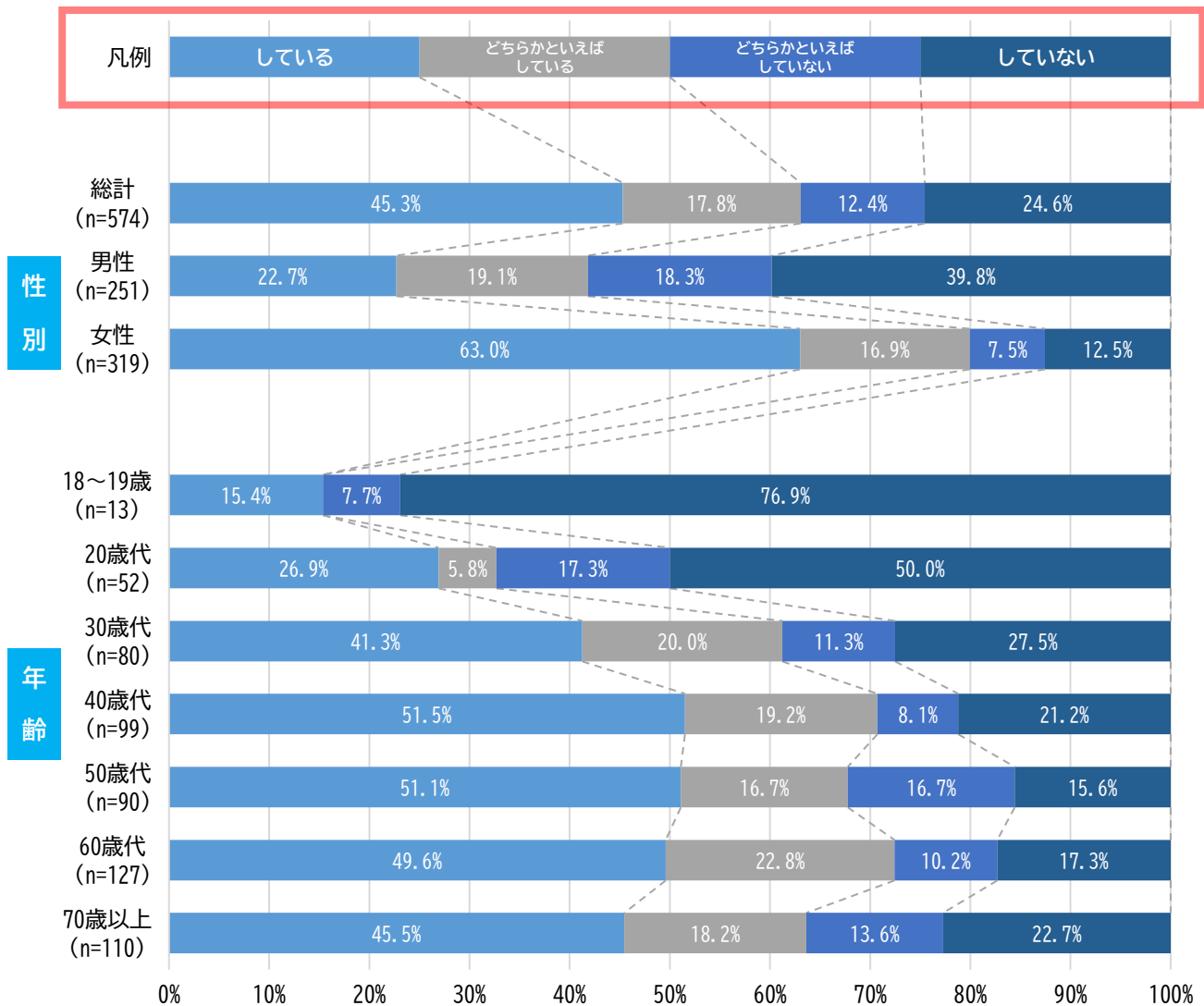
5. 家庭における男女共同参画について

(1) 家事への参画度について

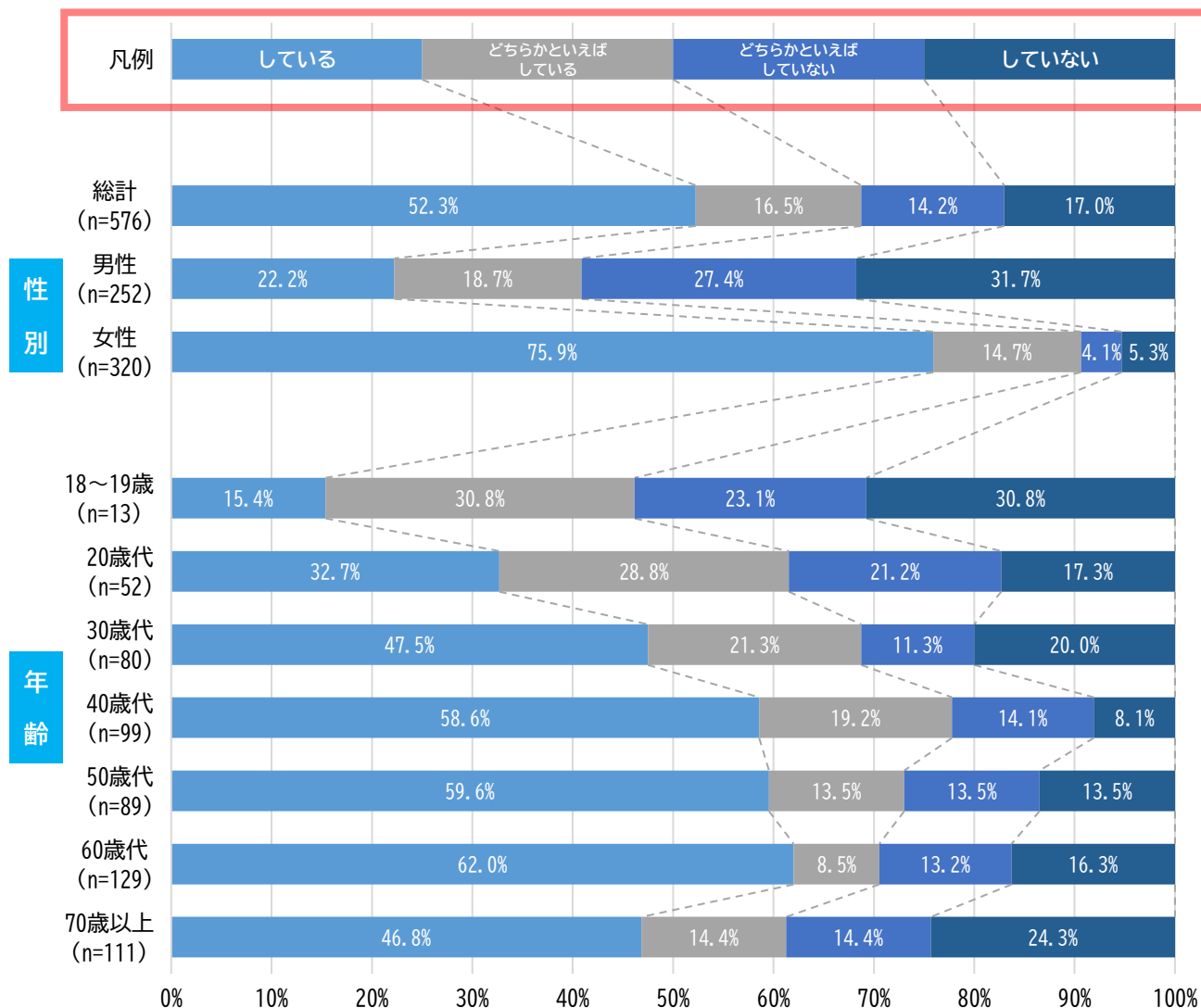
問15 あなたは家事をどの程度していますか。次のア～コそれぞれの家事について、あてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1. している
2. どちらかといえばしている
3. どちらかといえばしていない
4. していない

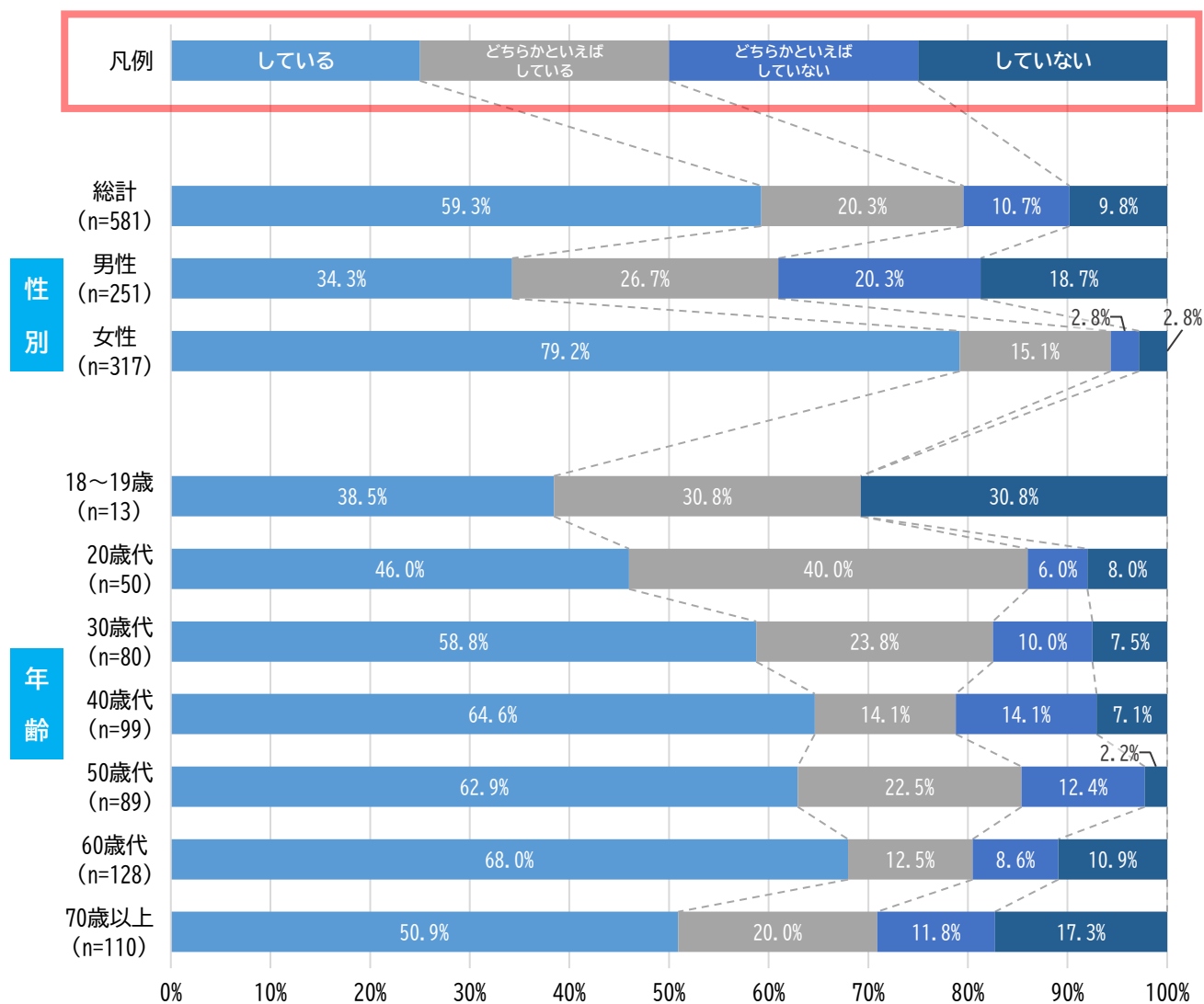
ア 日常の家計管理



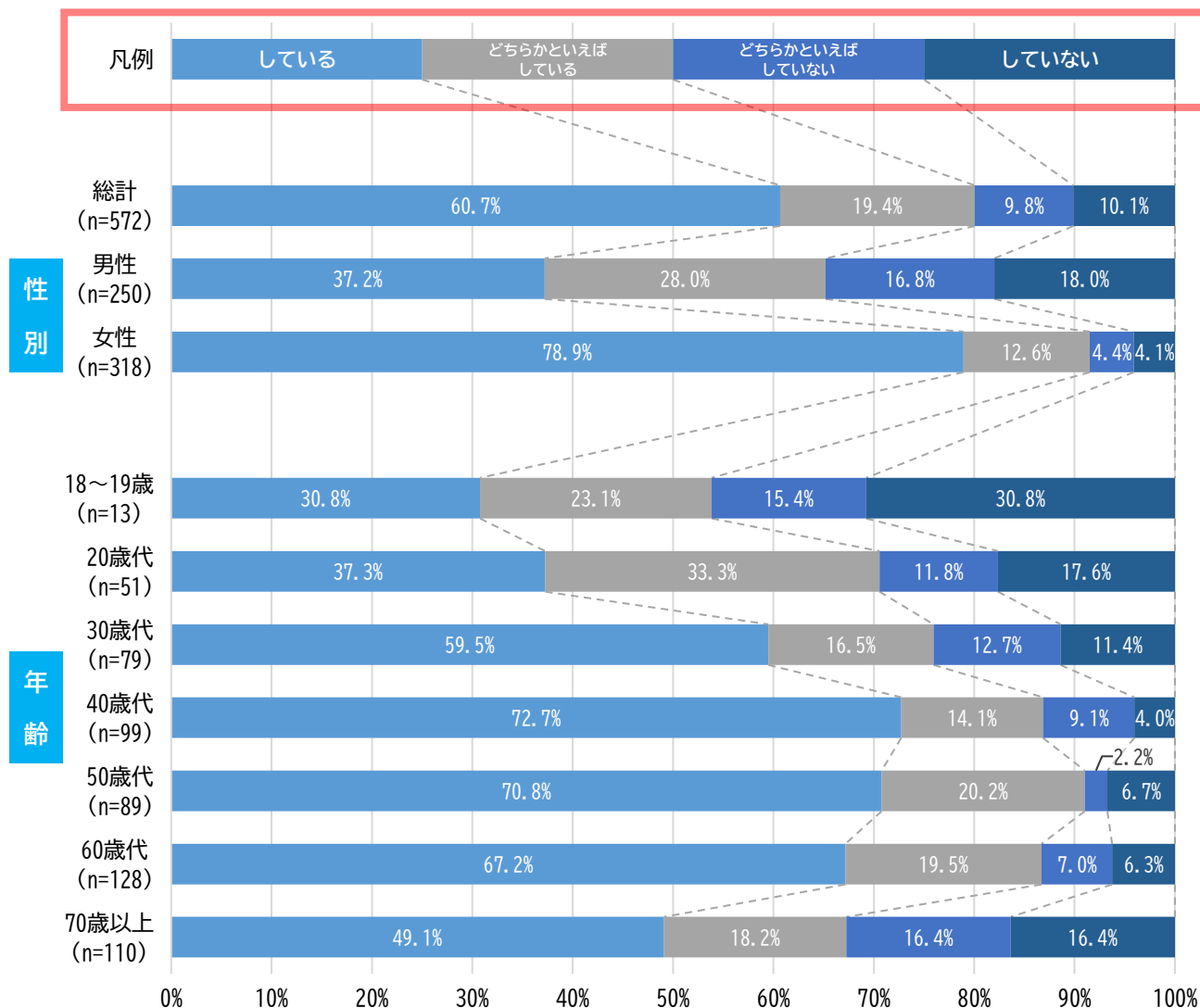
イ 食事の支度



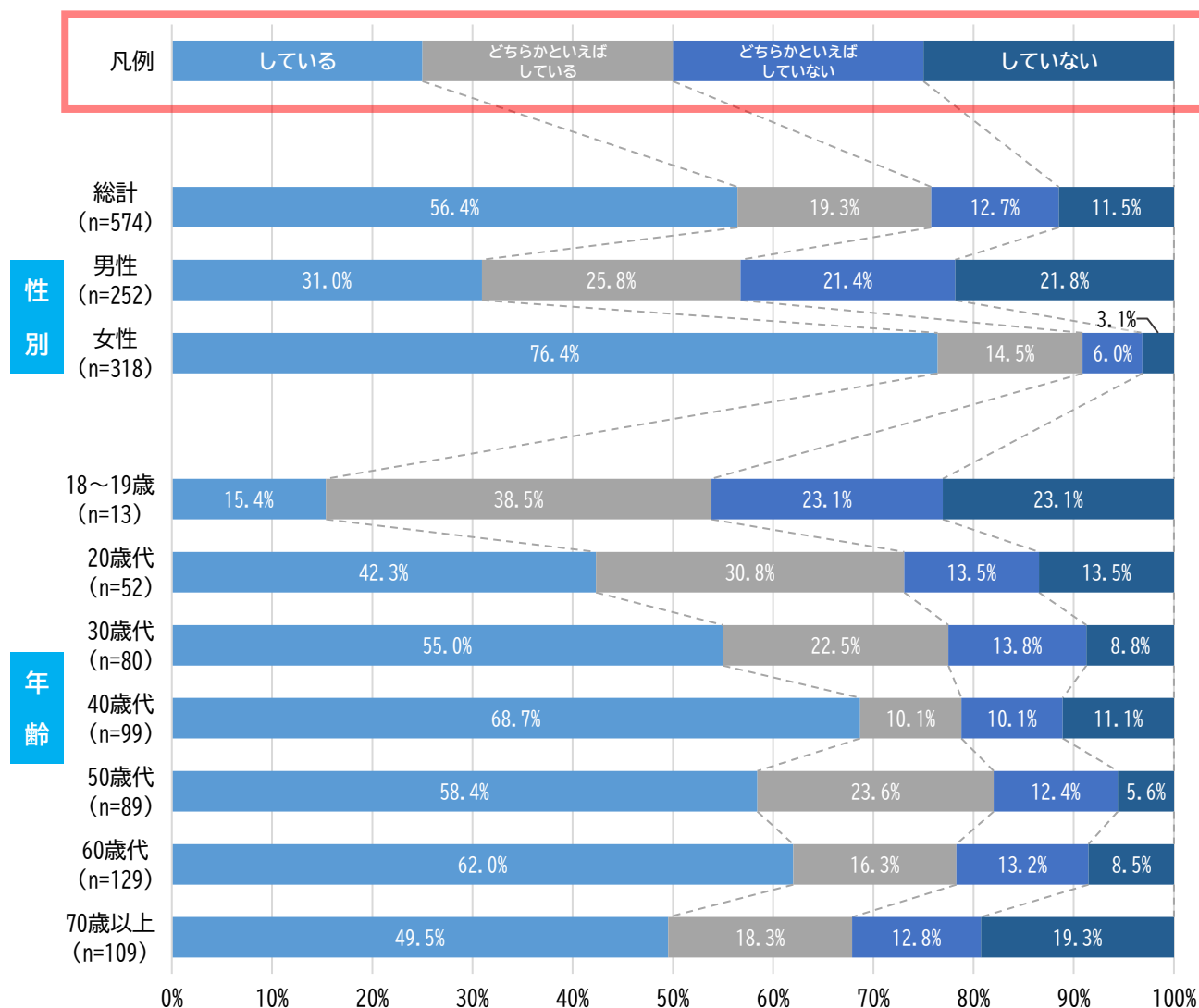
ウ 食事の後片付け



エ 食料品・日用品の買い物

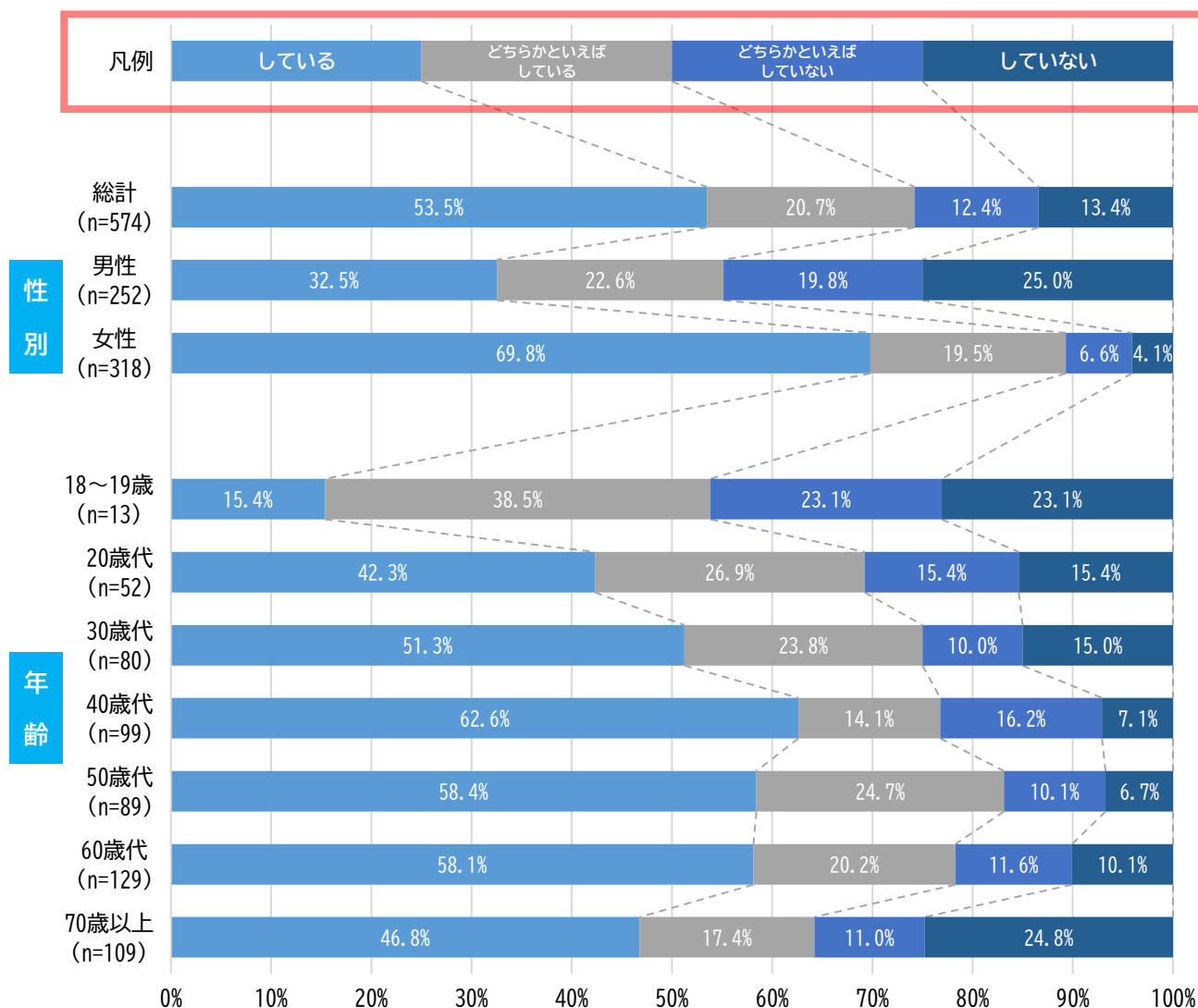


才 掃除

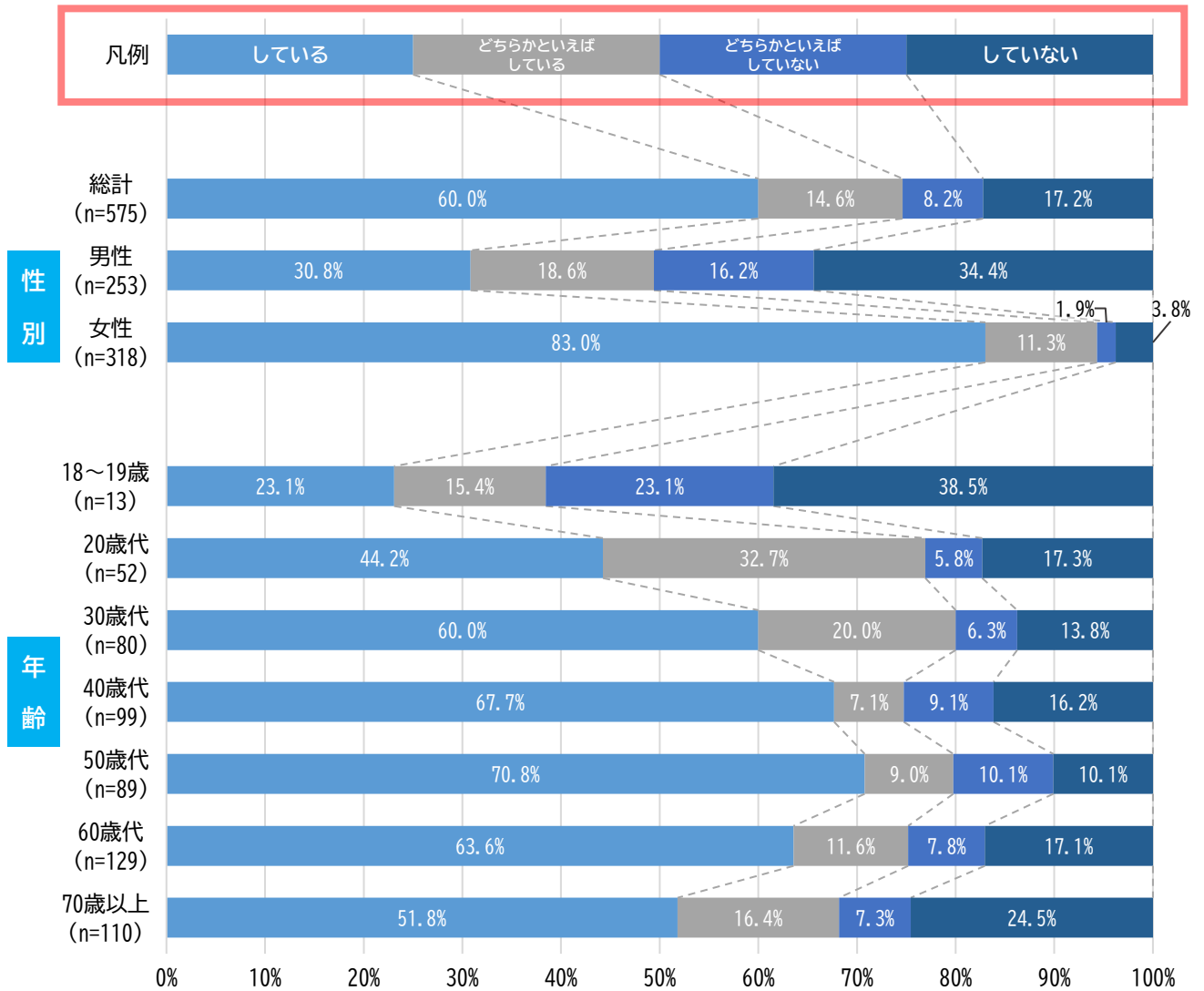


第2章 調査結果

カ ふろ・トイレ掃除

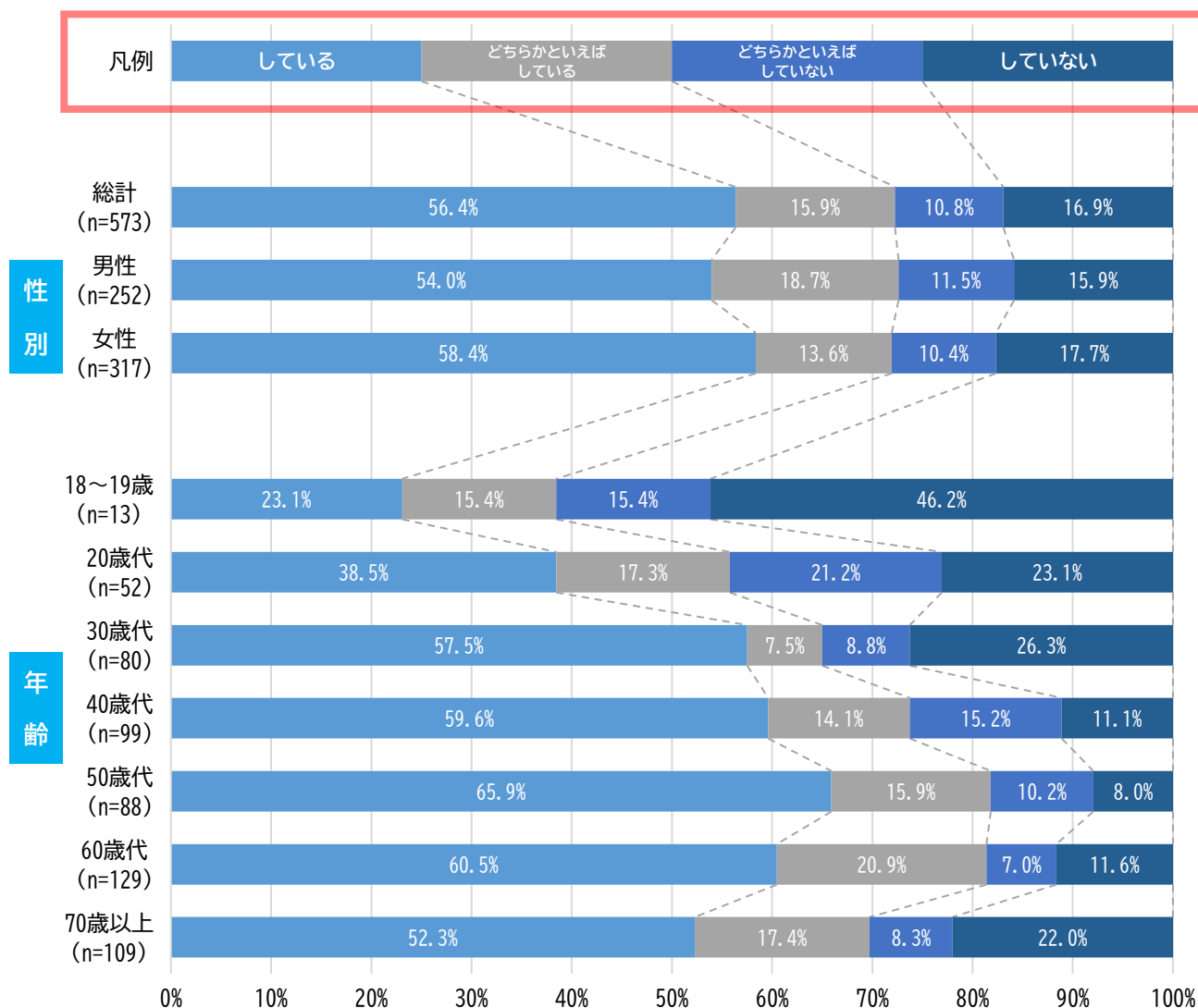


キ 洗濯

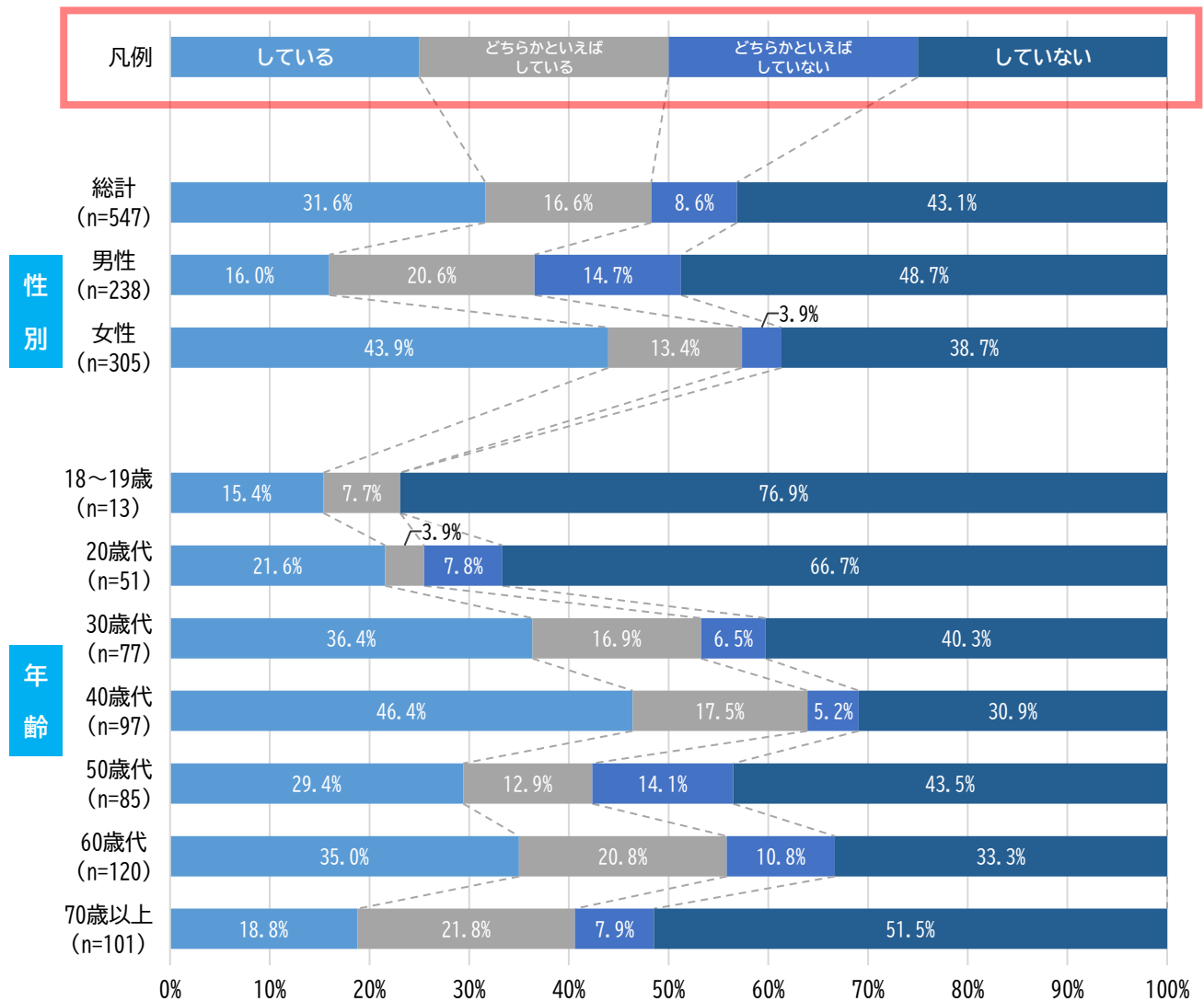


第2章 調査結果

ク ごみ出し

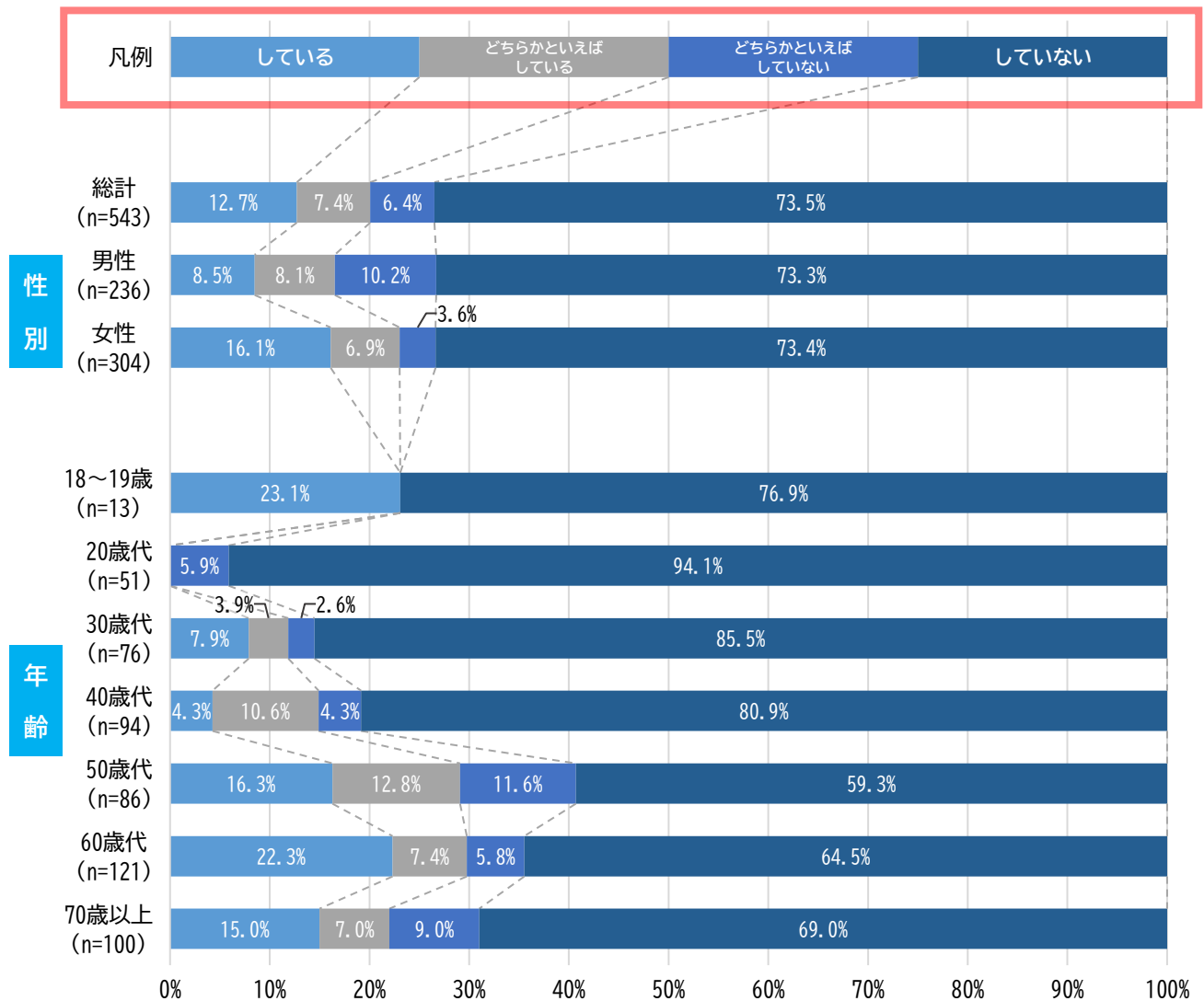


ケ 子どもや孫の世話



第2章 調査結果

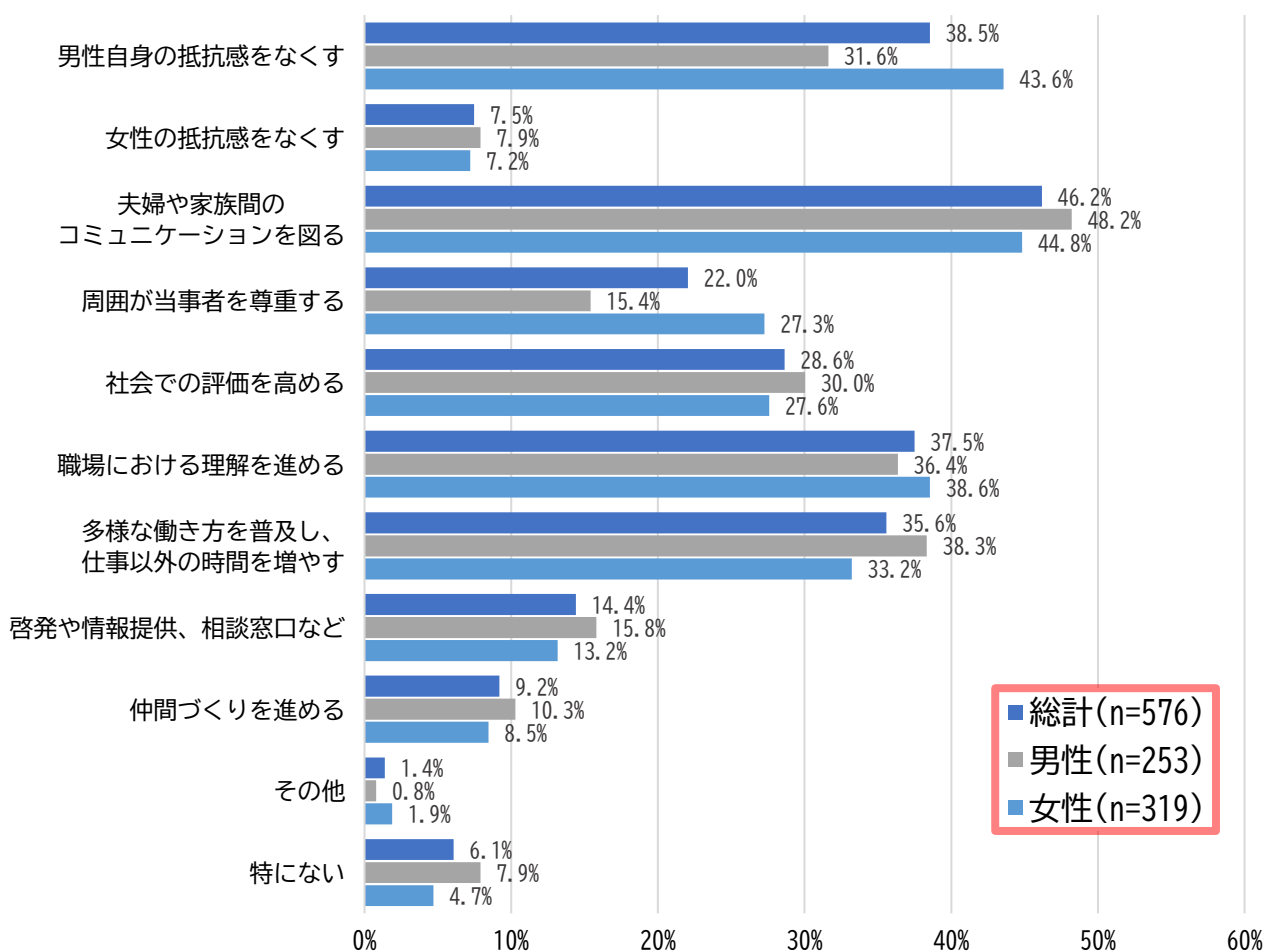
コ 介護



(2) 男性の家事参画のために必要なことについて

問16 あなたは、男性が、家事、育児、介護に積極的に参加していくために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(〇は3つまで)

1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションを図る
4. 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重する
5. 社会の中で、家事、育児、介護について、その評価を高める
6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進める
7. 労働時間短縮や休暇制度、在宅勤務などを利用し、多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
8. 男性による家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行う
9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)作りを進める
10. その他
11. 特に必要なことはない



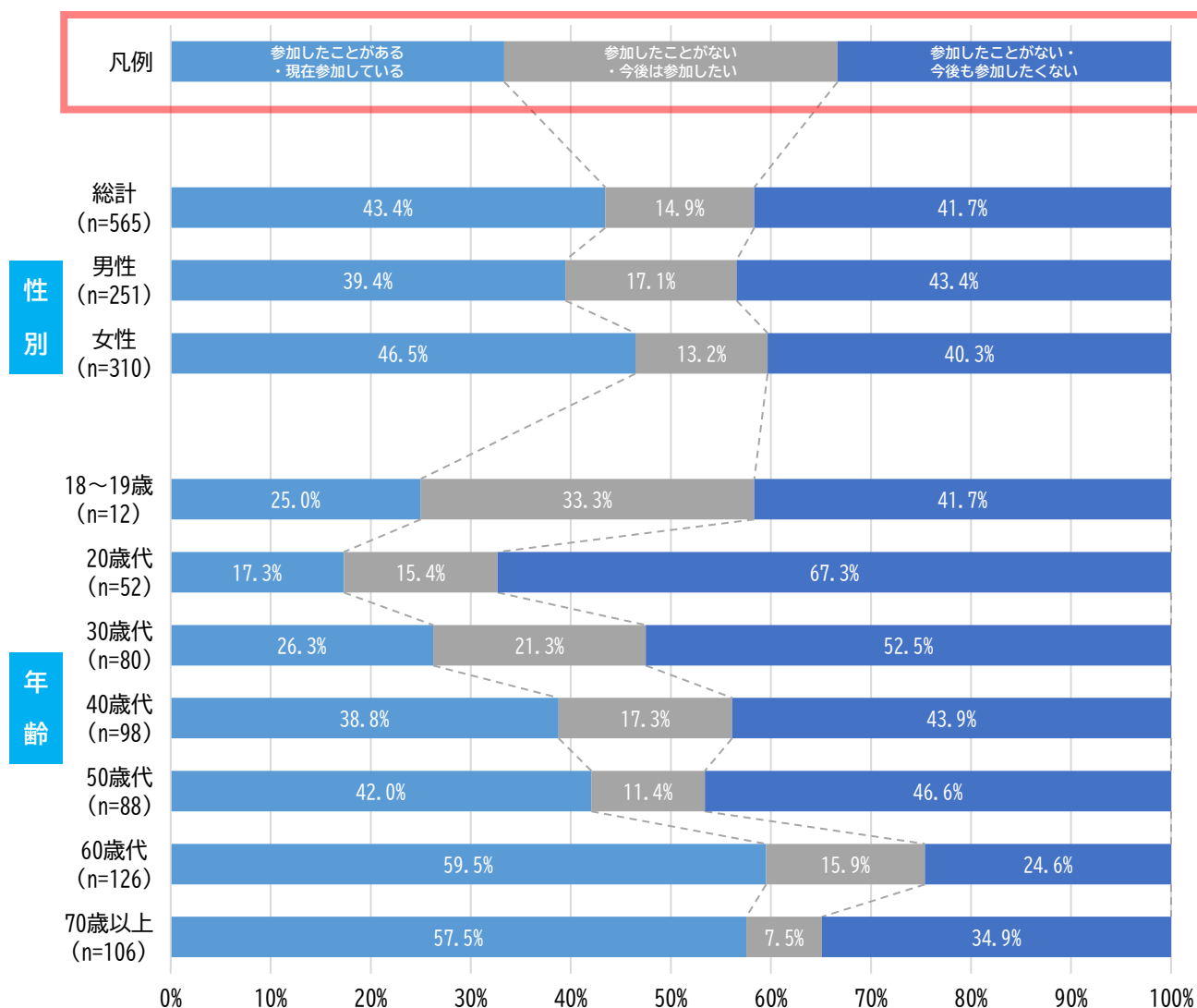
6. 地域活動における男女共同参画について

(1) 地域活動への参画度について

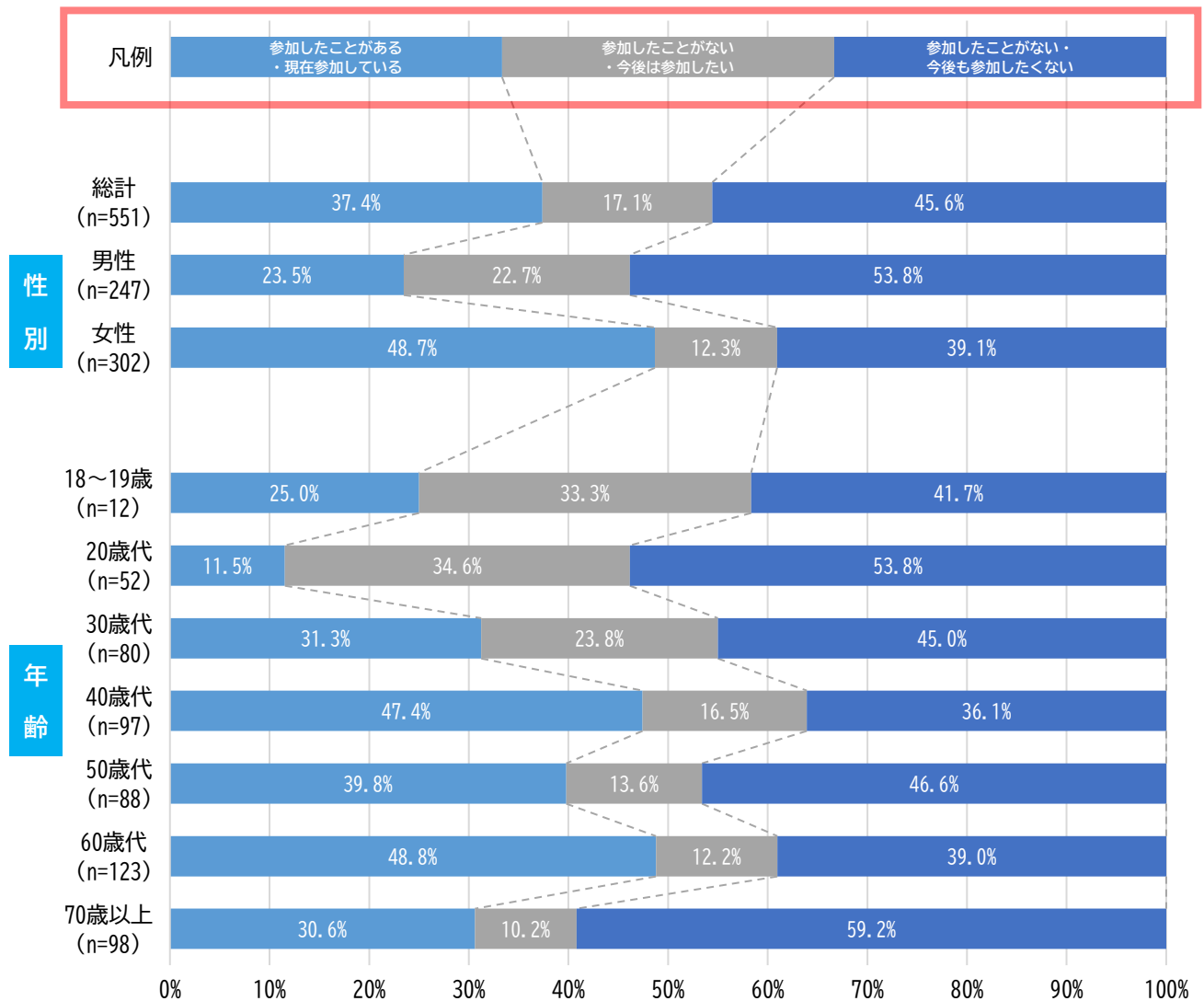
問17 あなたは、次のア～エの地域活動などに参加したことがありますか。また、今後参加してみたい活動はどれですか。あてはまる番号を選んでください。
(○はそれぞれ1つ)

1. 参加したことがある・現在参加している
2. 参加したことがない・今後は参加したい
3. 参加したことがない・今後もしも参加したくない

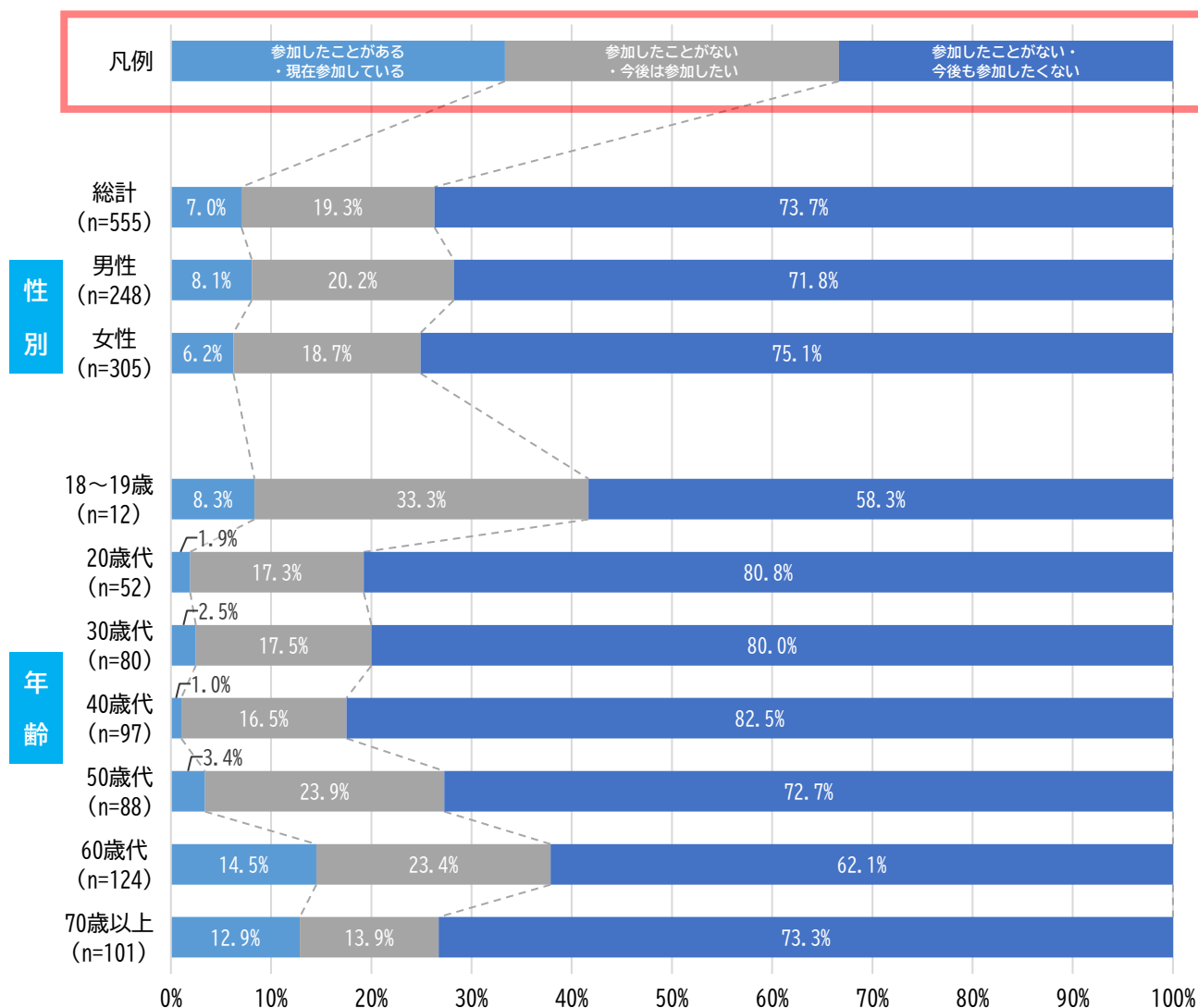
ア 自治会・町内会の活動



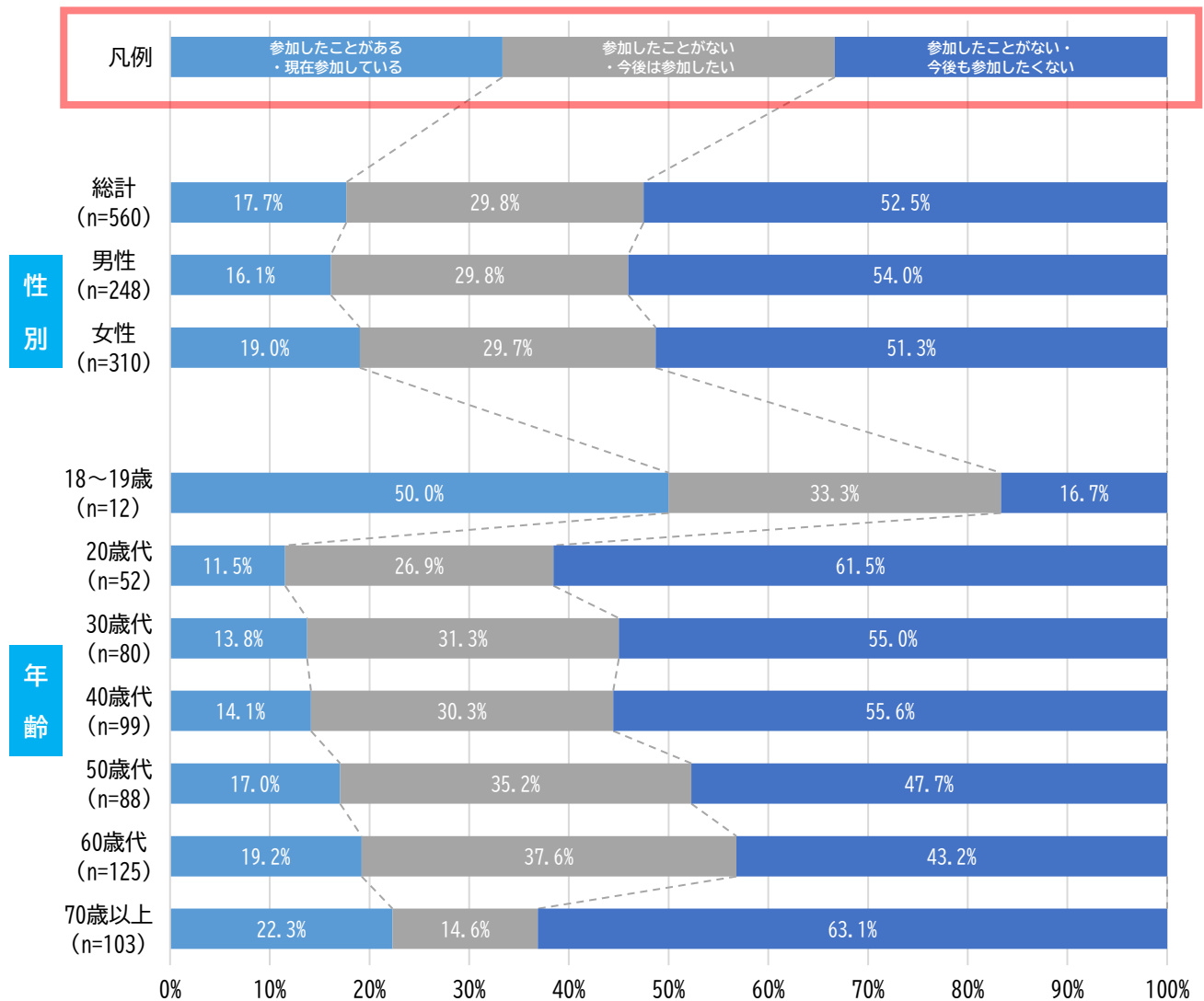
イ PTAや子ども会の活動



ウ 民生委員・行政員・保健推進員など公的な活動



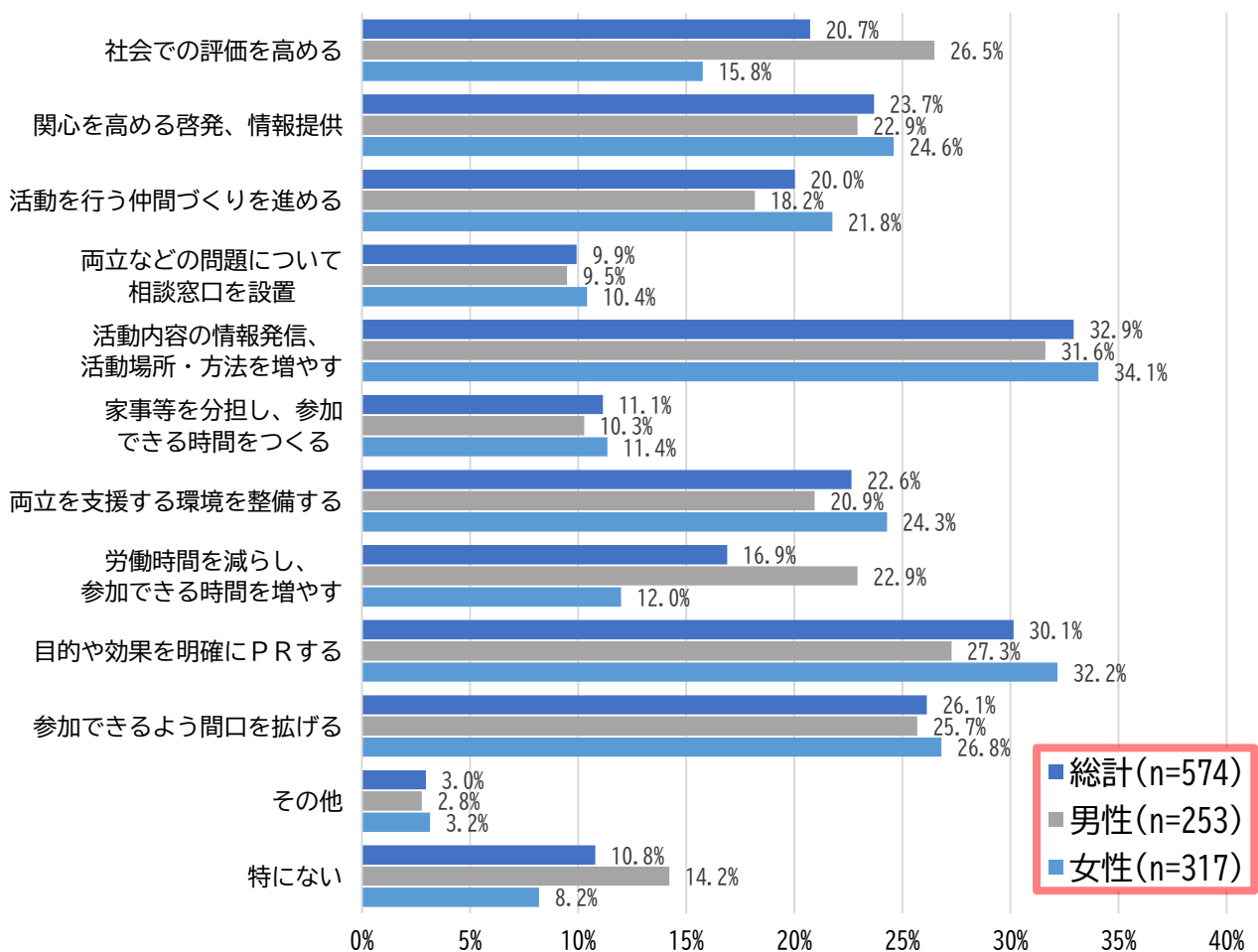
エ 市民団体やボランティアなどの活動



(2) 地域活動への参加を進めるために必要なことについて

問18 あなたは、多くの人たちの地域活動への参加を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(○は3つまで)

1. 社会の中で、地域活動についての評価を高める
2. 地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う
3. 地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりを進める
4. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談できる窓口を設ける
5. 地域活動の内容を広く知ってもらうための情報発信や活動場所・方法を増やす
6. 家事や育児を家庭内で分担し合い、参加できる時間をつくる
7. 仕事や家事と社会参加の両立を支援する環境を整備する
8. 労働時間を減らし、参加できる時間を増やす
9. 地域活動の目的や効果を明確にして PR する
10. 性別、年齢を問わずに参加できるよう間口を広げる
11. その他
12. 特に必要なことはない



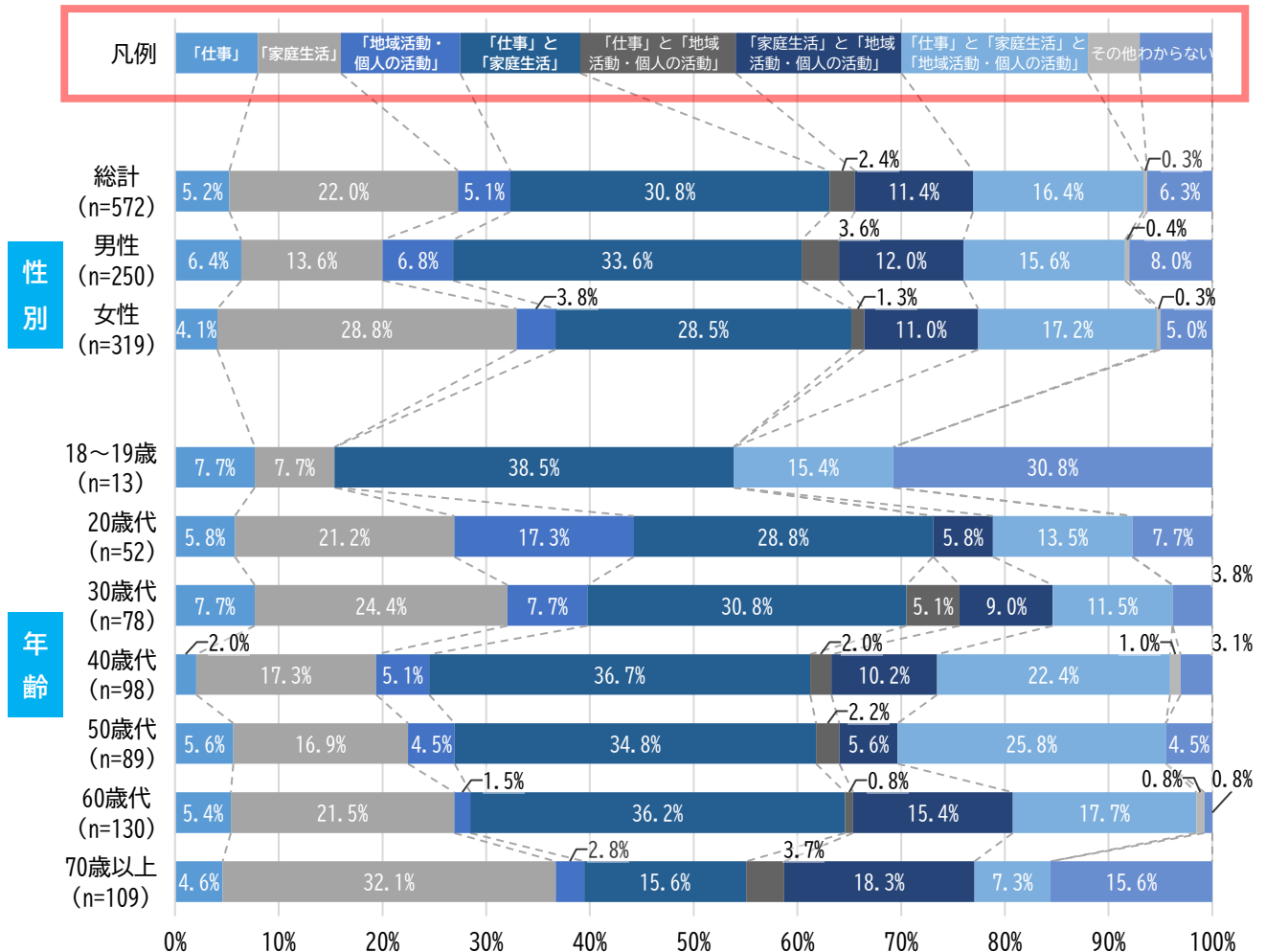
7. ワーク・ライフ・バランスをめぐる状況について

(1) 「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・個人の活動」の優先度について

問19 あなたの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・個人の活動」についてお聞きします。

(1) あなたの希望に最も近い番号を選んでください。(○は1つ)

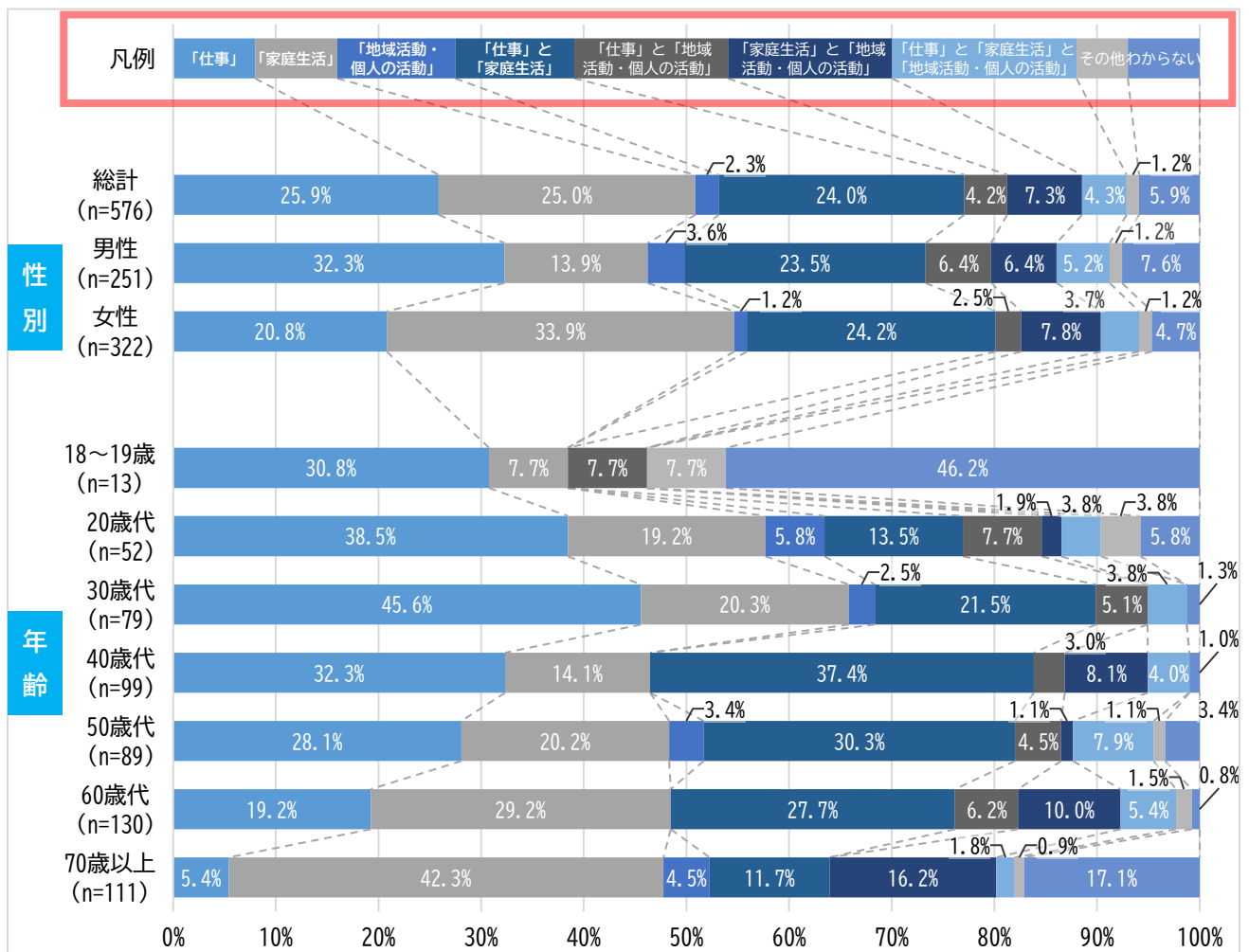
1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域活動・個人の活動」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域活動・個人の活動」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域活動・個人の活動」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・個人の活動」をともに優先したい
8. その他
9. わからない



第2章 調査結果

(2) あなたの現状に最も近い番号を選んでください。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域活動・個人の活動」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域活動・個人の活動」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域活動・個人の活動」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・個人の活動」をともに優先している
8. その他
9. わからない

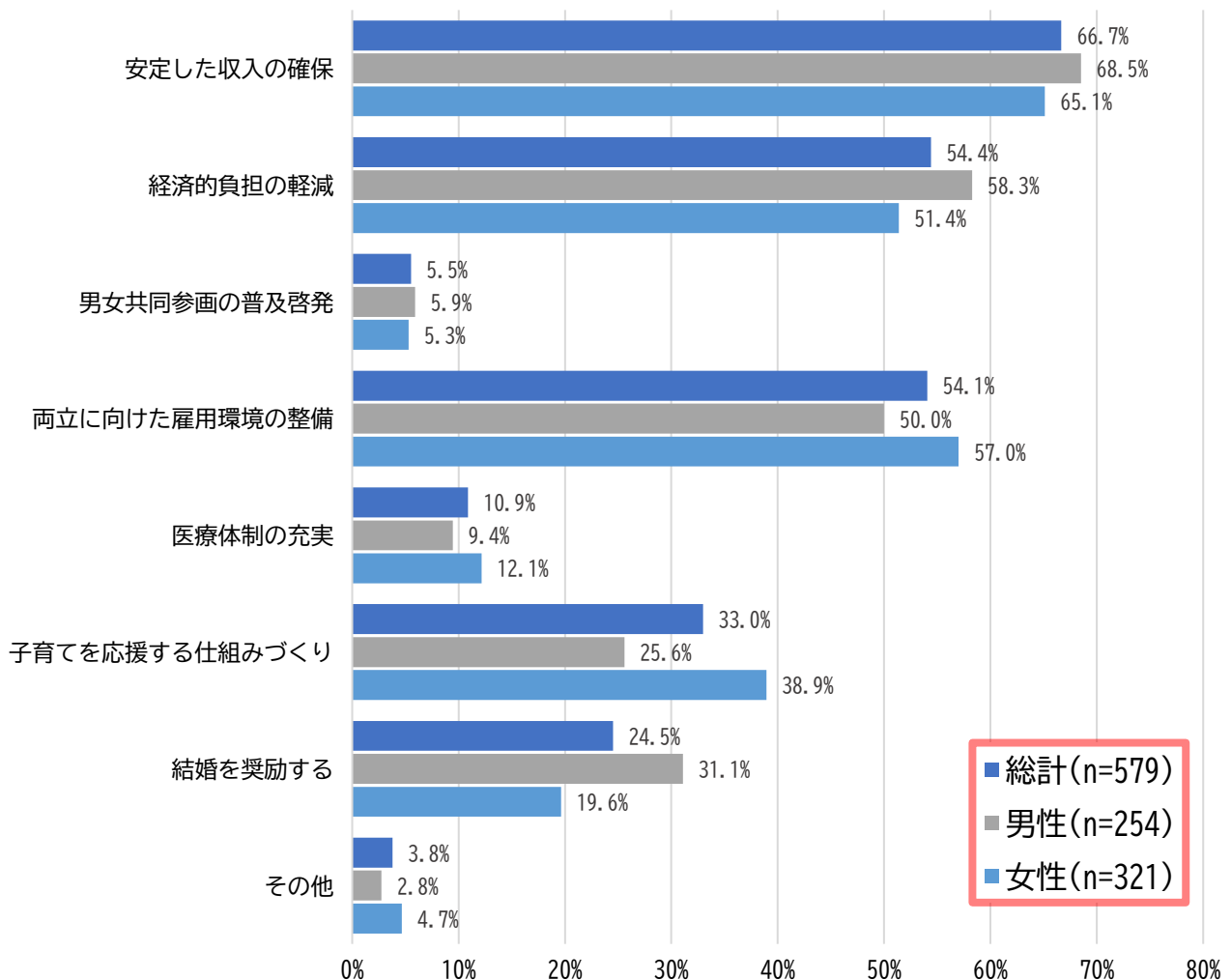


8. 少子化対策について

(1) 出生率低下や少子化対策として必要なことについて

問20 あなたは、出生率の低下や少子化対策として、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(〇は3つまで)

1. 子育てできる安定した収入の確保
2. 出産や子育て中の経済的負担の軽減
3. 社会における男女共同参画の普及啓発
4. 仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備
5. 産婦人科や小児科などの医療体制の充実
6. 子どもの一時預かり（放課後等の居場所含む）や子育てのアドバイスなど、地域での子育てを応援する仕組みづくり
7. 男女が出会う機会をつくり、結婚を奨励する
8. その他

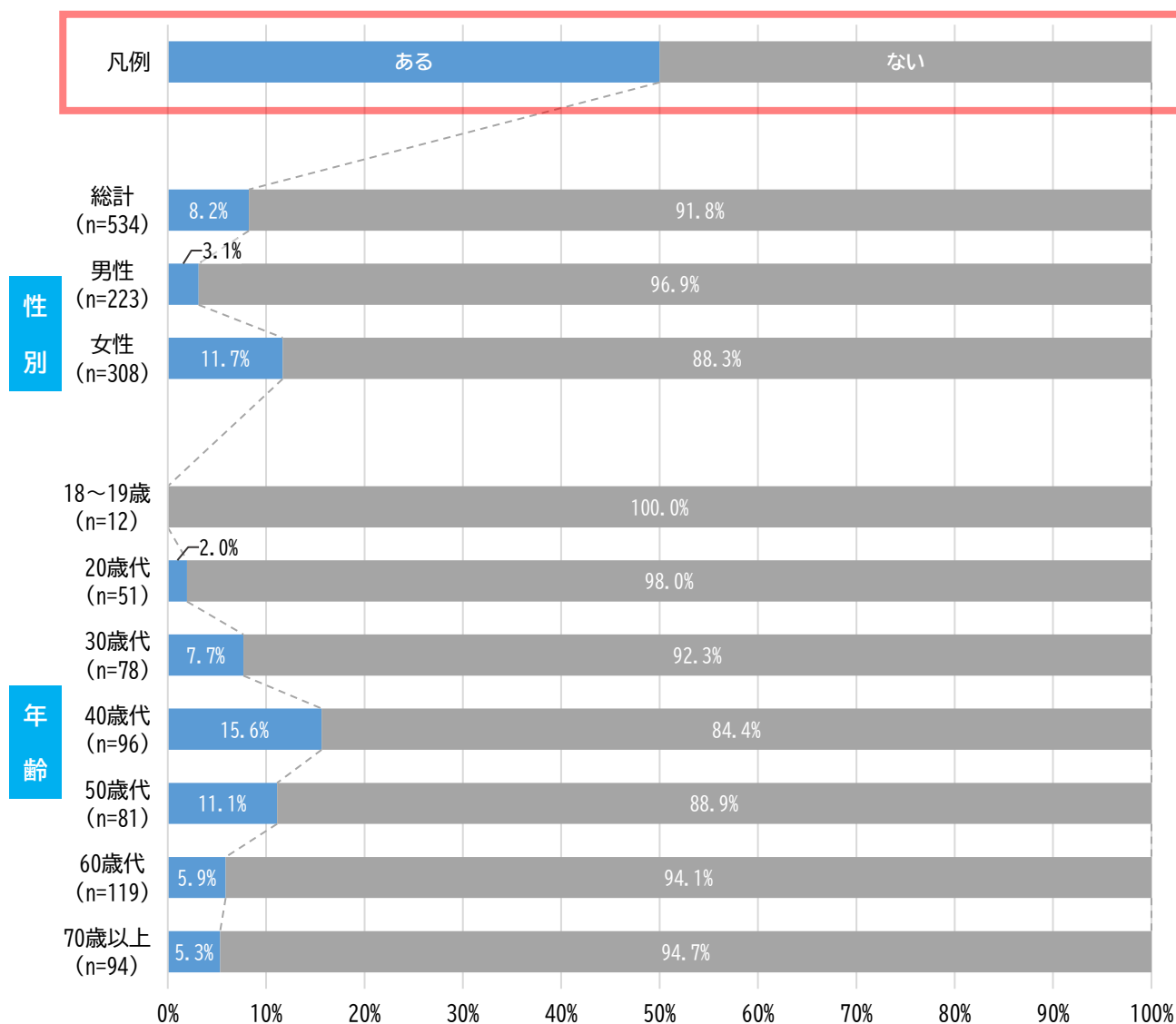


9. DV(ドメスティック・バイオレンス)について

(1) DV経験の有無について

問21 あなたは、配偶者または親しい異性(恋人など)から暴力(DV)を受けた経験がありますか。

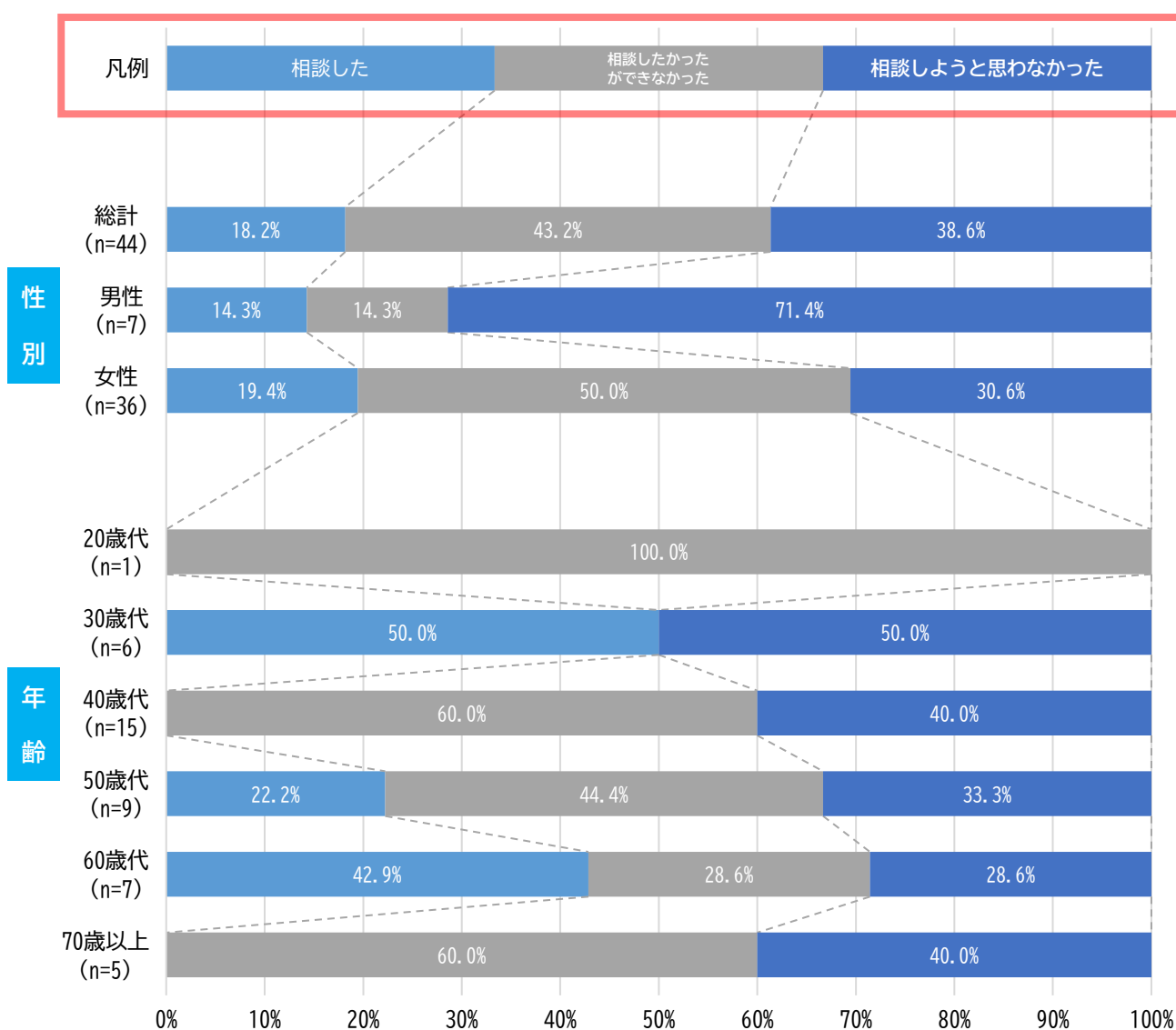
1. ある
2. ない



(2) 誰かに相談したかについて

問21-1 「ある」と答えた方にお聞きします。その時誰かに相談しましたか。
あてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

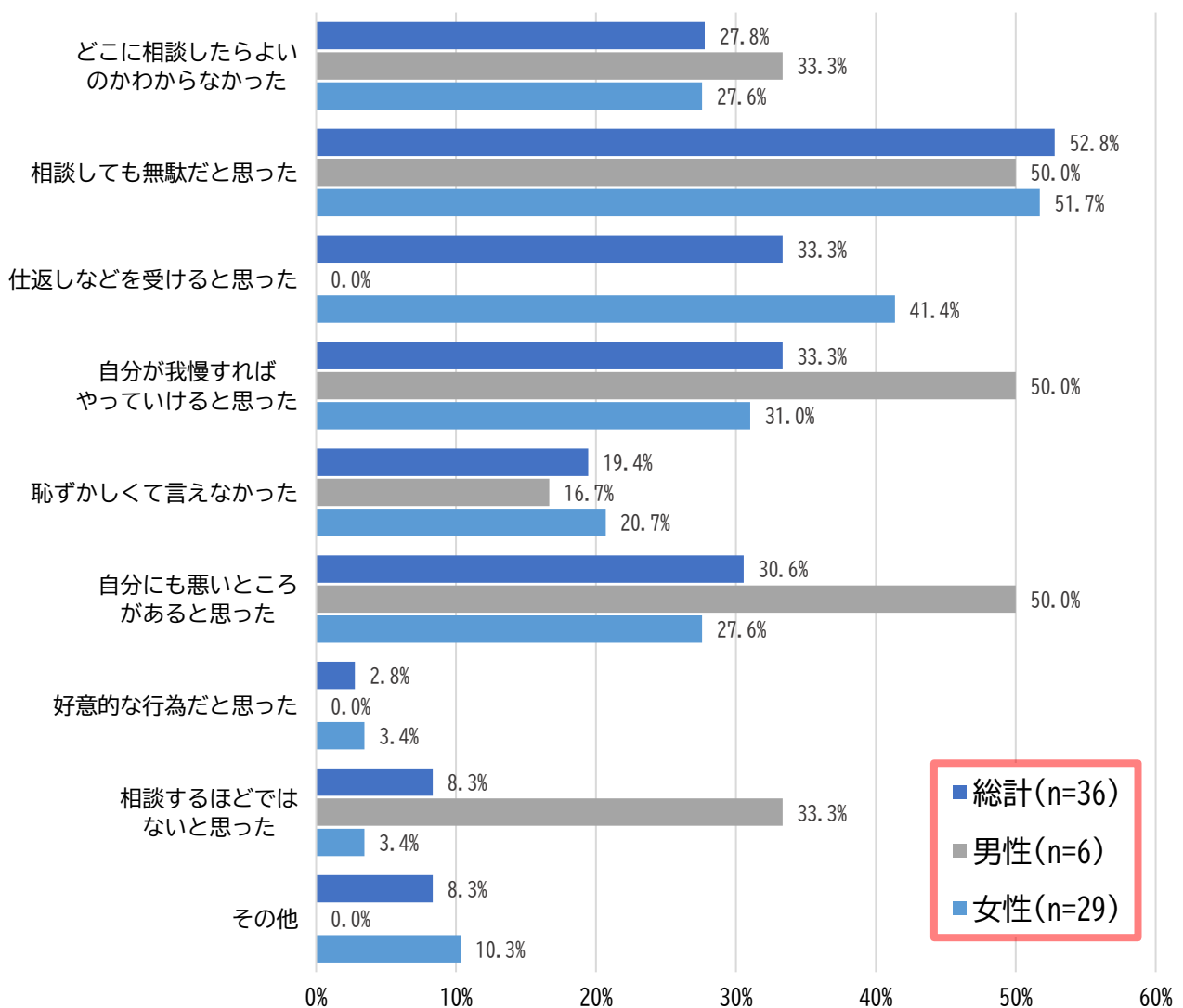
1. 相談した
2. 相談したかったができなかった
3. 相談しようと思わなかった
4. その他



(3) 相談しなかった理由について

問21-2 問21-1で「2. 相談したかったができなかった」、「3. 相談しようと思わなかった」に○をつけた方にお聞きます。どこにも相談しなかった、または相談できなかったのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. どこに相談したらよいのかわからなかった
2. 相談しても無駄だと思った
3. 相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思った
4. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った
5. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
6. 自分にも悪いところがあると思った
7. 自分のための好意的な行為だと思った
8. 相談するほどのことでもないと思った
9. その他

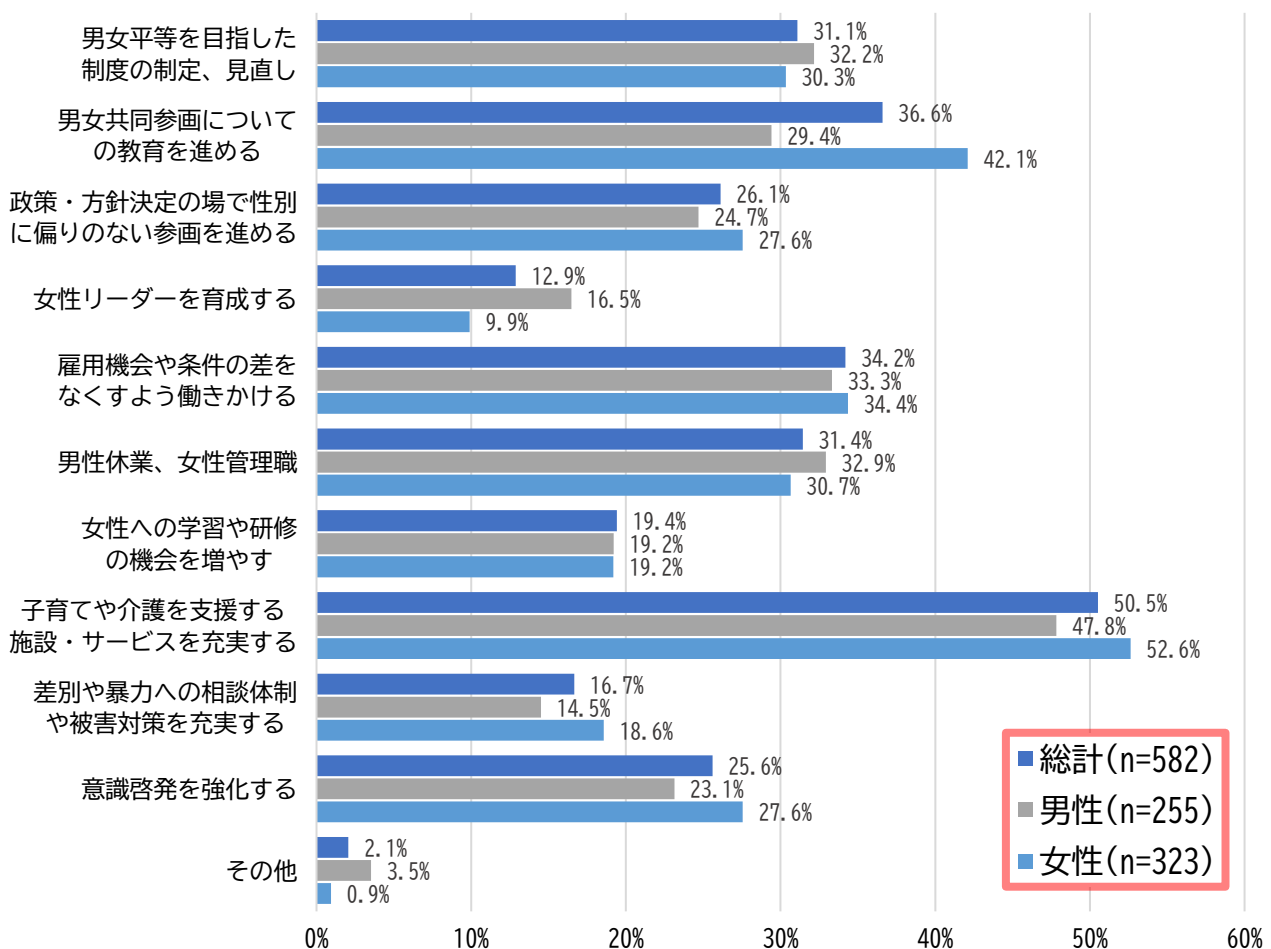


10. 男女共同参画社会実現に向けての意見について

(1) 行政はどのようなことに力を入れるべきかについて

問22 男女共同参画社会を実現するために、あなたは、行政がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 男女平等を目指した制度の制定や見直しを行う
2. 学校や学習施設で、男女共同参画についての教育や学習を進める
3. 政策・方針決定の場(各種審議会等)で性別に偏りのない参画を進める
4. 地域や団体で活躍できる女性リーダーを育成する
5. 男女の雇用の機会や条件の差をなくすように、会社や事業主に働きかける
6. 男性の育児休業取得や短時間勤務、女性の管理職への登用などを会社や事業主に働きかける
7. 女性の意識や能力を高める学習や研修の機会を増やす
8. 子育てや介護を支援する施設・サービスを充実する
9. 性別での差別や暴力などへの相談体制や被害対策を充実する
10. 男女の平等とお互いの理解や協力についての意識啓発を強化する
11. その他



第3章 アンケート調査票

～一人ひとりが生き生きと暮らせるまちをめざして～
男女共同参画に関する市民アンケート

八戸市民の皆様へ

調査ご協力をお願い

日頃より市政に対するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

八戸市は、性別にとらわれず、一人ひとりが個人として尊重される男女共同参画社会の実現を目指しています。

現在の第4次八戸市男女共同参画基本計画「男女共同参画社会をめざす はちのへプラン 2017」の計画期間は、平成29年度から令和3年度までとなっています。

計画期間を令和4年度からとする第5次基本計画の策定にあたり、第5次基本計画が単なる旧計画の修正ではなく、現実に即したより実効性があるもの、また、市民の期待に応える計画とすることを目指すため、市民の皆さんを対象に男女共同参画に関するお考えやご意見、現状をお伺いし、実態把握に努めるためにアンケート調査を実施することといたしました。そこで、市内にお住まいの18歳以上の男女1,000人を無作為に選ばせていただき、あなたにアンケートの回答をお願いすることとなりました。お忙しいところ大変ご面倒をおかけしますが、この趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、この内容につきましては他の目的に使用することはありません。また、個々のご回答やプライバシーにかかわる内容が公表されることはありません。

令和2年10月

八戸市長 小林 眞

ご記入にあたってのお願い

1. アンケートの回答は、封筒のあて名の方がご記入ください。(代筆可)
2. 選択肢がある場合には、あてはまる番号又は項目に○をつけてください。また、「その他()」に○をつけた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
3. ご記入が終わりましたら、無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、**11月20日(金)まで**にポストに投函してください。切手は不要です。

【調査についてのお問合せ先】

八戸市 総合政策部 市民連携推進課 男女共同参画グループ
TEL 0178-43-9217(直通) / FAX 0178-47-1485
/ 電子メール renkei@city.hachinohe.aomori.jp

第3章 アンケート調査票

あなた自身のことについてお聞きします

問1～問5 それぞれの当てはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

問1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

問3 あなたの職業はどれにあたりますか。

1. 正規従業員 2. 非正規従業員(非常勤・パート・アルバイトなど)
3. 自営業(商工業・サービス業など) 4. 農林漁業
5. 家事専業(主婦・主夫・家事手伝い) 6. 学生
7. 無職 8. その他()

問4 あなたは結婚されていますか。

1. 結婚している(事実婚含む) 2. 離別・死別 3. 未婚

問5 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子(2世代世帯)
4. 親と子と孫(3世代世帯) 5. その他()

男女共同参画に関する意識についてお聞きします

問6 あなたは、次のア～キの分野において、男女は平等になっていると思いますか。
あなたの気持ちに最も近い番号を選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

分野	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
ア 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
イ 職場では	1	2	3	4	5	6
ウ 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
エ 地域活動の場では (町内会やPTA)	1	2	3	4	5	6
オ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
カ 社会通念・慣習・しきたりなど※	1	2	3	4	5	6
キ 政治の場では	1	2	3	4	5	6

※「カ」は「男は仕事、女は家庭」や「男子厨房に入らず」などの考え方のことです

問7 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。
あなたの気持ちに最も近い番号を選んでください。(〇は1つ)

1. 同感する
2. どちらかといえば同感する
3. どちらかといえば同感しない
4. 同感しない

問8 あなたは、進路や職業を選択する際に、性別を意識しましたか。あてはまる番号を選んでください。(〇は1つ)

1. 性別をかなり意識して選択した
2. どちらかといえば性別を意識して選択した
3. どちらかといえば性別を意識せずに選択した
4. 性別をほとんど(全く)意識せずに選択した
5. わからない

第3章 アンケート調査票

問9 あなたは、育児、介護などの家庭で担われている役割について、理想としてあなたと配偶者でどのように分担したいと思いますか。あなたが育児、介護などを行っている、していないに関わらず、保育所、訪問介護、家事代行などの外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近い番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)なお、配偶者のいない方も、配偶者がいることを想定してお答えください。

(1) 育児

1. 自分と配偶者で半分ずつ分担(外部サービスは利用しない)
2. 自分の方が配偶者より多く分担(外部サービスは利用しない)
3. 配偶者の方が自分より多く分担(外部サービスは利用しない)
4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担
6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担
7. その他()
8. わからない

(2) 介護

1. 自分と配偶者で半分ずつ分担(外部サービスは利用しない)
2. 自分の方が配偶者より多く分担(外部サービスは利用しない)
3. 配偶者の方が自分より多く分担(外部サービスは利用しない)
4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担
6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担
7. その他()
8. わからない

(3) 育児・介護以外の家事

1. 自分と配偶者で半分ずつ分担(外部サービスは利用しない)
2. 自分の方が配偶者より多く分担(外部サービスは利用しない)
3. 配偶者の方が自分より多く分担(外部サービスは利用しない)
4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担
5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担
6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担
7. その他()
8. わからない

男女共同参画に関する用語及び市事業の認知度についてお聞きします

問10 あなたは、次のア～ケの言葉や市が行っている事業を知っていますか。あてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

		知っている	聞いたことがある	知らない
用語	ア 男女共同参画社会	1	2	3
	イ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3
	ウ DV(ドメスティック・バイオレンス)	1	2	3
	エ LGBT ※1	1	2	3
	オ ダイバーシティ ※2	1	2	3
市の事業	カ 八戸市男女共同参画推進月間 ※3	1	2	3
	キ 男女共同参画情報誌「WITH YOU」 ※4	1	2	3
	ク 女性チャレンジ講座 「女子力向上ぜみなーる」 ※5	1	2	3
	ケ キラっと☆スマイル八戸ナビ 及び キラ☆スタ両立ナビ ※6	1	2	3

※1「エ LGBT」は、Lesbian(レズビアン、女性の同性愛者)、Gay(ゲイ、男性の同性愛者)、Bisexual(バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー、身体の性と心の性が一致しない人)の頭文字を組み合わせた言葉です。

※2「オ ダイバーシティ」は、「多様性」のことです。性別や国籍、年齢、価値観などの違いに関わらず、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といいます。

「カ」～「ケ」はいずれも八戸市総合政策部 市民連携推進課で実施している事業です。

※3「カ」は、八戸市男女共同参画基本条例により、毎年10月を推進月間と定め、イベントや、商業施設等での啓発ティッシュの配布等の啓発活動を実施しています。

※4「キ」は、市民や事業所に男女共同参画意識の醸成を図るため、毎年10月と3月に作成している情報誌です。商業施設や金融機関、イベント等での配布を行っています。

※5「ク」は、20代～40代の女性を対象に、ビジネススキルの向上や職業、業種を超えたネットワークづくりを通して、女性の活躍するチャンスを広げることを目的に実施する講座です。

※6「ケ」は、ワーク・ライフ・バランスを実践し、活躍している方を広報はちのへ裏面の連載記事(キラっと☆スマイル八戸ナビ)や、BeFMのラジオ番組(キラ☆スタ両立ナビ)などで紹介する事業です。

仕事について

問11 あなたは、これまでに仕事や就職活動等において、男女差などを経験したこと、または感じたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 募集や採用の面で男女に差がある
2. 賃金や昇給の面で男女に差がある
3. 昇進や昇格の面で男女に差がある
4. 仕事の内容や配置場所の面で男女に差がある
5. 職場での研修や学習の機会に男女の差がある
6. 女性は結婚や出産を機に退職する慣習や居づらい雰囲気がある
7. 男性は育児休業や介護休業などを利用しにくい慣習や雰囲気がある
8. 育児休業後は元の地位・職務で復職できない
9. その他()
10. 特にない

問12 あなたは、女性の職業生活(仕事)における活躍のためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(○は3つまで)

1. 男性の、家事や育児、介護などの家庭参加を進める
2. 職場での制度(育児休業、介護休暇等)を整える
3. 突発的な状況でも休暇が取得可能な業務体制の整備や雰囲気づくりをする
4. 保育や介護サービスなどの環境を整える
5. 職場や上司の考え方を変える
6. 女性の能力向上に向けた支援を行う
7. 女性自身の仕事に対する責任や期待への抵抗感を無くする
8. その他()
9. 特に必要なことはない

問13 あなたは、企業や行政などの職場において、管理職など責任のある職務や指導的地位などに女性を増やすために、何が最も有効だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

1. 女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる
2. 女性も男性も自らが関心や積極性を持ち、意識改革を進める
3. 経営者が、女性の管理職や指導的地位への登用の数値目標の設定や割当制を導入する
4. 仕事の役割分担や人事評価・昇進などにおいて男女差をなくす
5. 経営トップによる方針決定を強力に進める
6. その他()
7. 特に必要なことはない

問14 あなたは、男性にとっても女性にとっても働きやすい環境をつくるためには、
どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。
(○は3つまで)

1. 男性も女性も育児休業や介護休業などを取りやすくする
2. 労働時間の短縮や在宅勤務など、自分に合った働き方ができる
3. 子育てや介護のために仕事をやめた人が、職場復帰しやすい制度をつくる
4. 賃金や昇進などの待遇面における男女差をなくす
5. 保育所、放課後児童クラブなどの数や場所を増やす
6. 地域全体で、子育てや介護支援ができるネットワークをつくる
7. 高齢者・病人の施設、介護サービスを充実させる
8. 家族の積極的な支援や協力
9. その他()

家庭について

問15 あなたは家事をどの程度していますか。次のア～コそれぞれの家事について、
あてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

家事	している	どちらかとい えば している	どちらかとい えば していない	していない
ア 日常の家計管理	1	2	3	4
イ 食事の支度	1	2	3	4
ウ 食事の後片付け	1	2	3	4
エ 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4
オ 掃除	1	2	3	4
カ ふろ・トイレ掃除	1	2	3	4
キ 洗濯	1	2	3	4
ク ごみ出し	1	2	3	4
ケ 子どもや孫の世話	1	2	3	4
コ 介護	1	2	3	4
そのほかでしている家事があればお書きください				

第3章 アンケート調査票

問16 あなたは、男性が、家事、育児、介護に積極的に参加していくために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。
(○は3つまで)

1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションを図る
4. 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重する
5. 社会の中で、家事、育児、介護について、その評価を高める
6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進める
7. 労働時間短縮や休暇制度、在宅勤務*などを利用し、多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
8. 男性による家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行う
9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)作りを進める
10. その他()
11. 特に必要なことはない

※「在宅勤務」は、会社に出向かず自宅で仕事を行うこと。テレワーク(ＩＴ機器等を使い、時間や場所に捉われない働き方)のひとつとして「在宅勤務」があります。

地域活動について

問17 あなたは、次のア～エの地域活動などに参加したことがありますか。また、今後参加してみたい活動はどれですか。あてはまる番号を選んでください。
(○はそれぞれ1つ)

地域活動など	参加したことがある・現在参加している	参加したことがない・今後は参加したい	参加したことがない・今後参加したくない
ア 自治会・町内会の活動	1	2	3
イ PTA や子ども会の活動	1	2	3
ウ 民生委員・行政員・保健推進員など公的な活動	1	2	3
エ 市民団体やボランティアなどの活動	1	2	3

問18 あなたは、多くの人たちの地域活動への参加を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(○は3つまで)

1. 社会の中で、地域活動についての評価を高める
2. 地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う
3. 地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりを進める
4. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談できる窓口を設ける
5. 地域活動の内容を広く知ってもらうための情報発信や活動場所・方法を増やす
6. 家事や育児を家庭内で分担し合い、参加できる時間をつくる
7. 仕事や家事と社会参加の両立を支援する環境を整備する
8. 労働時間を減らし、参加できる時間を増やす
9. 地域活動の目的や効果を明確にしてPR する
10. 性別、年齢を問わずに参加できるよう間口を広げる
11. その他()
12. 特に必要なことはない

第3章 アンケート調査票

全般について

問19 あなたの生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域活動・個人の活動」についてお聞きします。

この設問における用語の解釈は、以下を参考にしてください。

○「家庭生活」

家族と過ごすこと、家事、育児、介護など

○「地域活動・個人の活動」

地域・社会活動（ボランティア活動、社会参加活動、つきあいなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなど

（1）あなたの希望に最も近い番号を選んでください。（○は1つ）

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域活動・個人の活動」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域活動・個人の活動」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域活動・個人の活動」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・個人の活動」をともに優先したい
8. その他（ ）
9. わからない

（2）あなたの現状に最も近い番号を選んでください。（○は1つ）

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域活動・個人の活動」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域活動・個人の活動」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域活動・個人の活動」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・個人の活動」をともに優先している
8. その他（ ）
9. わからない

少子化についてお聞きします

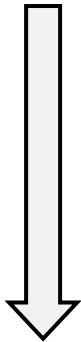
問20 あなたは、出生率の低下や少子化対策として、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を選んでください。(○は3つまで)

1. 子育てできる安定した収入の確保
2. 出産や子育て中の経済的負担の軽減
3. 社会における男女共同参画の普及啓発
4. 仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備
5. 産婦人科や小児科などの医療体制の充実
6. 子どもの一時預かり（放課後等の居場所含む）や子育てのアドバイスなど、地域での子育てを応援する仕組みづくり
7. 男女が出会う機会をつくり、結婚を奨励する
8. その他()

問21 あなたは、配偶者または親しい異性(恋人など)から暴力(DV※)を受けた経験がありますか。

1. ある

2. ない



問 22 へ

※DV(ドメスティック・バイオレンス)とは？

配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から身体的、精神的、経済的、性的に振るわれる暴力のことです。

例)・殴る、蹴るなど(身体的なもの)

・無視する、おどすなど(精神的なもの)

・生活費を渡さないなど(経済的なもの)

・性行為の強要など(性的なもの)

・携帯電話(スマートフォン)を細かく

チェックするなど(社会的な隔離)

問21-1 「ある」と答えた方にお聞きします。その時誰かに相談しましたか。

あてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

1. 相談した → 任意記述(誰に _____ どこに _____)
2. 相談したかったができなかった
3. 相談しようと思わなかった
4. その他(_____)

問21-2 問21-1で2、3に○をつけた方にお聞きします。どこにも相談しなかった、または相談できなかったのはなぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. どこに相談したらよいのかわからなかった
2. 相談しても無駄だと思った
3. 相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思った
4. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った
5. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
6. 自分にも悪いところがあると思った
7. 自分のための好意的な行為だと思った
8. 相談するほどのことでもないと思った
9. その他(_____)

▼配偶者や恋人からの暴力(DV)でお悩みの方は、以下の相談窓口へご相談ください▼

八戸市こども家庭相談室

TEL 0178-38-0703 (平日 8 時 15 分～17 時)

メール welfarefamily@city.hachinohe.aomori.jp (24 時間受付※)

※回答までにお時間をいただく場合があります。

青森県三戸地方福祉事務所

TEL 0178-27-4435 (平日 8 時 30 分～17 時)

青森県女性相談所

TEL 017-781-2000 (平日 8 時 30 分～20 時 / 土日祝 9 時～18 時)

DVホットライン

TEL 0120-87-3081 (緊急通報専用 / 24 時間対応)

男女共同参画社会実現に向けての意見についてお聞きします

問22 男女共同参画社会を実現するために、あなたは、行政がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 男女平等を目指した制度の制定や見直しを行う
2. 学校や学習施設で、男女共同参画についての教育や学習を進める
3. 政策・方針決定の場(各種審議会等)で性別に偏りのない参画を進める
4. 地域や団体で活躍できる女性リーダーを育成する
5. 男女の雇用の機会や条件の差をなくすように、会社や事業主に働きかける
6. 男性の育児休業取得や短時間勤務、女性の管理職への登用などを会社や事業主に働きかける
7. 女性の意識や能力を高める学習や研修の機会を増やす
8. 子育てや介護を支援する施設・サービスを充実する
9. 性別での差別や暴力などへの相談体制や被害対策を充実する
10. 男女の平等とお互いの理解や協力についての意識啓発を強化する
11. その他()

問23 男女共同参画、男女平等についてのあなたのご意見や、ご自身の体験談などありましたらご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
この調査票は、同封の返信用封筒に入れて、11月20日(金)までに、
ご返送くださるようお願いいたします。

令和２年度 男女共同参画に関する市民アンケート結果報告書

作成 八戸市 総合政策部 市民連携推進課 男女共同参画グループ
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目１番１号
TEL：0178-43-2111 内線 2117・2118 FAX：0178-47-1485
E-MAIL：renkei@city.hachinohe.aomori.jp